

# 阿久根市シティブランディングに係る定量調査実施レポート

---

2024年2月28日

## 1.調査実施概要

- ・ 本調査の目的 P4
- ・ 調査実施概要 P5
- ・ 調査票仕様 P6
- ・ 封書・封入物仕様 P7

## 2.調査対象者属性

- ・ 調査票回収数・調査対象者属性① P9
- ・ 調査対象者属性② P10
- ・ 調査対象者属性③ P11

## 3.設問別調査結果

- ・ Q 1. 阿久根市の好き・良い・誇るべき所 P13
- ・ Q 2. そのうち最も当てはまると思うもの P24
- ・ Q 3. 阿久根市の課題点 P33
- ・ Q 4. そのうち最も当てはまると思うもの P44
- ・ Q 5. 阿久根市長になって推進したいこと P53
- ・ Q 6・Q7について P63

## 4.特定クラスターの回答傾向比較

- ・ クラスターについて P65
- ・ 回答傾向比較 P67

# 1

## . 調査実施概要

---

### 【本定量調査の目的】

「阿久根市シティブランディング」確立に至る計画の一環として、市民を対象にしたアンケート形式の定量調査を実施。市民が考える市の好きな所や誇るべき点、日常生活や市政等に関する不満や意見などを収集し、データの集計・分析と傾向把握および考察を行い、後に実施する定性調査（特定市民へのインタビュー調査）の結果、さらに市職員を対象としたワークショップを通じて策定される「ブランディングコアアイデア」と共に阿久根市シティブランディング計画立案の基礎資料として活用します。

- 定量調査では選択式と記入式を組み合わせ、自身のライフスタイルや人生観、身近な環境などと照らし合わせながら回答をしてもらうことで、阿久根市への好意度や課題意識についての市民の全体的な傾向を明らかにする事ができます。  
また、全体傾向を把握することにより、後に実施するターゲットインサイトを導き出すための定性調査やワークショップにおいて、よりの確な設計と実施が可能となります。
- 定量調査は結果が数字で示され、シティブランディングを推進する上での基礎データになり、分かりやすい数値で調査結果が把握できるため有用な資料として活用できます。

**【調査実施概要】**

- 調査件名 : 阿久根市シティブランディングプロジェクト推進のための住民意識調査
- 調査対象者 : 阿久根市民
- 調査方法 : 住民基本台帳より年代別で無作為抽出した計2,800名へのアンケート調査票入り封書の郵送配布  
および窓口投函・郵送による調査票の回収
- 実施期間 : 令和5年12月1日（金）発送～12月28日（木）提出期限
- 調査項目 : Q 1. 阿久根市の好き・良い・誇るべき所（複数選択式）  
Q 2. そのうち最も当てはまると思うもの（単一選択・記入式）  
Q 3. 阿久根市の課題点（複数選択式）  
Q 4. そのうち最も当てはまると思うもの（単一選択・記入式）  
Q 5. 阿久根市長になって推進したいこと（単一選択式）  
Q 6. それを推進したい理由（記入式）  
Q 7. それ以外で実行したいことのアイデア（記入式）
- 回収実績数 : 635票（回収率22.7%）
- 調査実施主管 : 阿久根市役所企画調整課
- 集計・分析 : 株式会社博報堂プロダクツ

調査票表面  
(A4サイズ)

阿久根市のブランドづくりに関する住民アンケート

Q1. 現在の阿久根市の好きな所や良い所、対外的にもっとアピールできると思う点を、以下の項目から3つ選び、その番号を○で囲んでください。

- ①豊かな自然環境 ②一年中温暖な気候 ③農水産物や各種加工品 ④食・グルメ全般
- ⑤観光スポット(具体的な名称: ) ⑥市の各種施設・設備
- ⑦先人達が築いてきた歴史や文化 ⑧伝統行事や郷土芸能(具体的な名称: )
- ⑨市の農業 ⑩市の水産業 ⑪市の小売業 ⑫市の観光業
- ⑬市のその他の産業(具体的には?: )
- ⑭市のイベント・行事(具体的な名称: )
- ⑮子育て環境 ⑯学校教育環境 ⑰医療・福祉 ⑱住環境(広さ、地代・家賃の安さ等)
- ⑲高齢者サービスの充実 ⑳健康づくりの取り組み ㉑行き届いた地域コミュニティ ㉒住民の優しさ、人柄
- ㉓暮らしに経済的な負担が少ない ㉔交通の利便性 ㉕治安の良さ
- ㉖行政サービスの良さ(具体的には?: ) ㉗市長の人柄・キャラクター
- ㉘働く環境 ㉙その他( ) ㉚好きな所、良い所は特にない

Q2. Q1で選んだ中から「いちばん当てはまると思うもの」を1つ挙げ、理由を具体的にお書きください。

番号	当てはまると思う理由

Q3. 現在の阿久根市でふだんより課題だと感じている点を、以下の項目から3つ選び、その番号を○で囲んでください。

- ①交通の便が悪い ②少子化・人口減少 ③雇用・働き場が少ない ④お店や飲食店が少ない ⑤娯楽やレジャーが少ない
- ⑥イベントや行事が少ない ⑦物価や光熱費、税金など生活インフラ費 ⑧住環境(地代・家賃が高い、狭い等)
- ⑨学校教育環境(学校が遠い、選択校が少ない、生徒や先生に問題がある等)
- ⑩医療・福祉 ⑪高齢者へのサービス不足 ⑫子育て環境(保育園・幼稚園の数、母親の働く場等) ⑬消防・防災
- ⑭自然環境保全 ⑮文化・スポーツ振興 ⑯市の施設(具体的には?: )
- ⑰治安の悪さ ⑱地域の風土・風習 ⑲人付き合いの面倒さ・地域コミュニケーション ⑳市の対外広報・PR
- ㉑行政サービス(具体的には?: )
- ㉒市政の在り方(具体的には?: )
- ㉓その他( ) ㉔嫌いな所や課題は特にない

Q4. Q3で選んだ中から「いちばん当てはまると思うもの」を1つ挙げ、理由を具体的にお書きください。

番号	当てはまると思う理由

アンケートは裏面に続きます ➡

調査票裏面

Q5. あなたが今日から阿久根市長になったとします。市をもっと暮らしやすくするために、まず何から重点的に推進しますか? 以下の項目から当てはまるものを1つだけ選び、その番号を○で囲んでください。

- ①農林水産業の振興と雇用の確保 ②商工業の振興と雇用の確保 ③観光の振興と観光客増加策
- ④新規企業の誘致 ⑤起業家の育成 ⑥移住者の増加策 ⑦定住促進策(市外への転出防止)
- ⑧健康の増進と地域医療の充実 ⑨子育て支援の充実 ⑩高齢者福祉と障がい者福祉の充実
- ⑪社会保障制度の適正運営 ⑫自然環境の保全
- ⑬暮らしを支える生活基盤(電気・水道・ガス・道路等)の形成・保全 ⑭消防・防災対策の充実
- ⑮治安等の生活の安心・安全の向上 ⑯市を活性化させる次世代人材の育成
- ⑰生涯学習の推進と社会教育の充実 ⑱文化の振興とスポーツの推進 ⑲行政への市民参加
- ㉑地域コミュニティの活性化 ㉒人権の尊重と男女共同参画の推進 ㉓適正な行財政運営
- ㉔その他( )

Q6. Q5でその項目を選んだ理由を具体的にお書きください。

具体的な理由

Q7. あなたが今日から阿久根市長になったとして、上記の項目の推進以外に阿久根市をより良くするために具体的に実行したいことがあればご自由にお書きください。

阿久根市をより良くするために実行したいこと

最後にあなたのプロフィールを教えてください。

性別 ▶  男性  女性

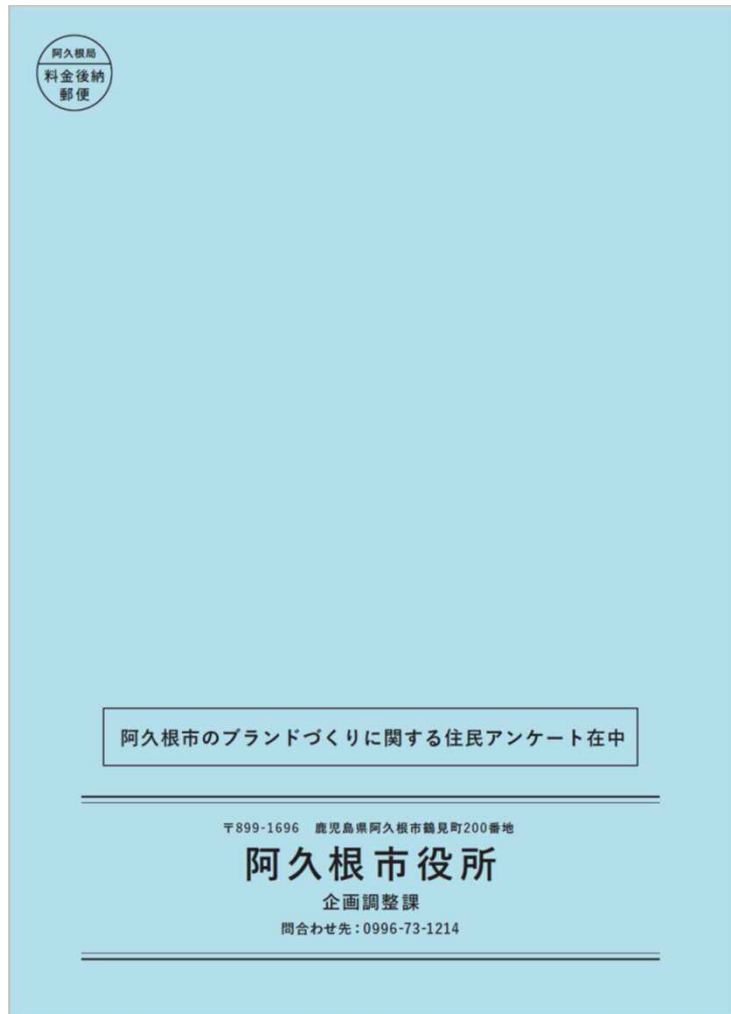
年齢 ▶ \_\_\_\_\_ 才

同居家族 ▶  一人暮らし  配偶者  ご自身の子ども  ご自身の親  
 配偶者の親  孫  友人・恋人  その他の親族・家族

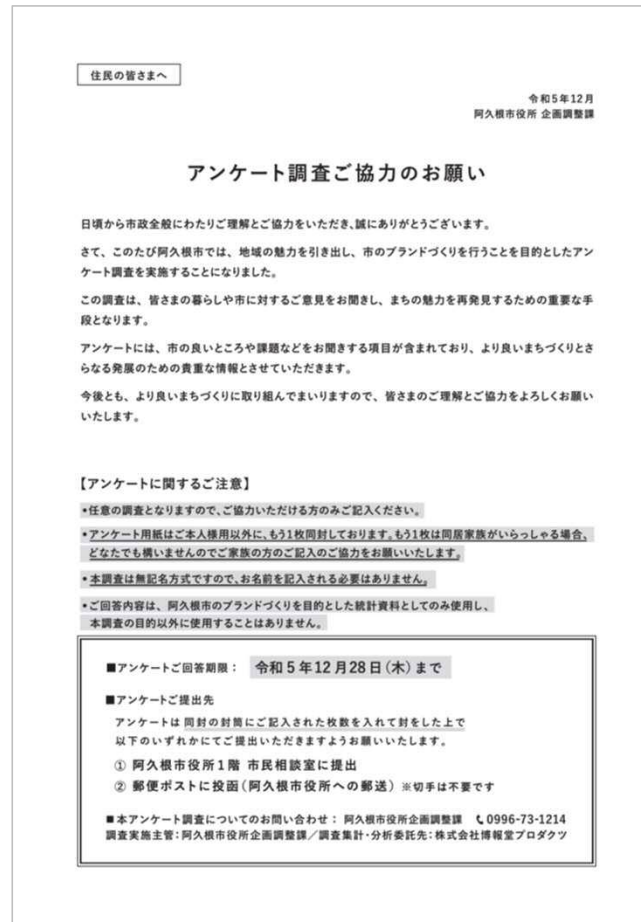
阿久根市での居住年数 ▶  5年以内  5年～10年  11年～20年  20年以上

出身地 ▶  阿久根市内  阿久根市外

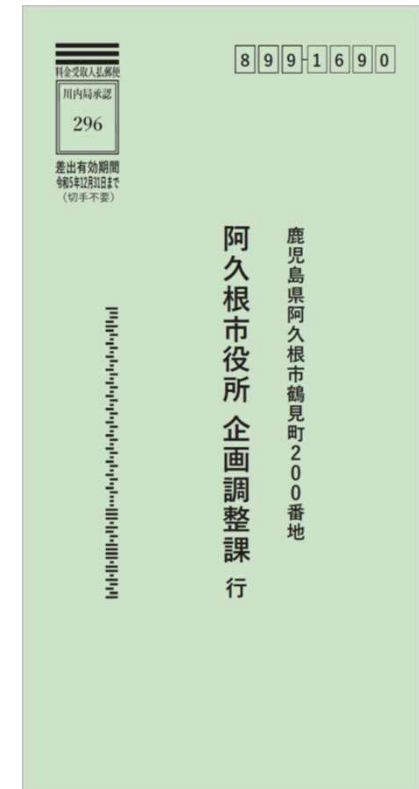
調査票送付用封筒（角2サイズ）



挨拶状（A4サイズ）



調査票返信用封筒（洋長3サイズ）



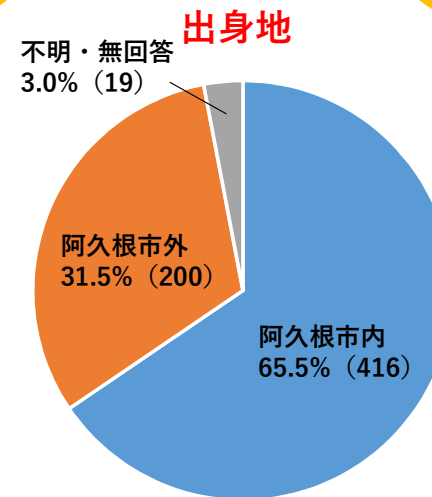
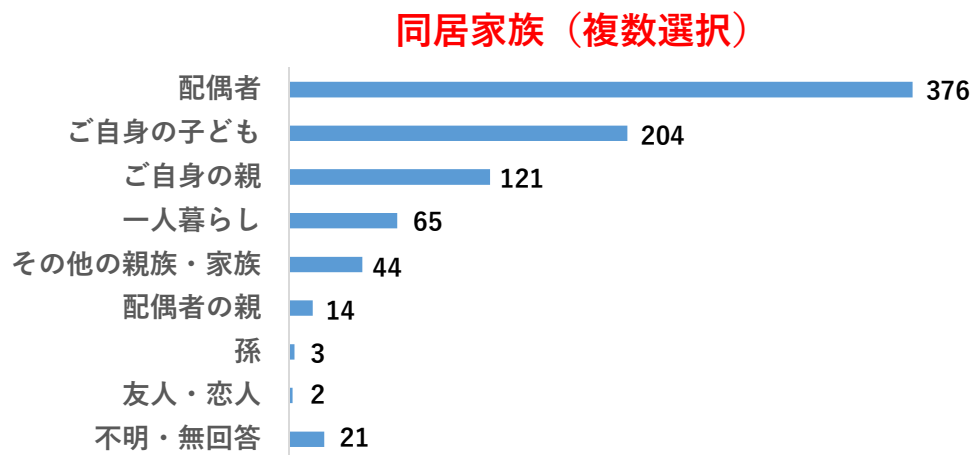
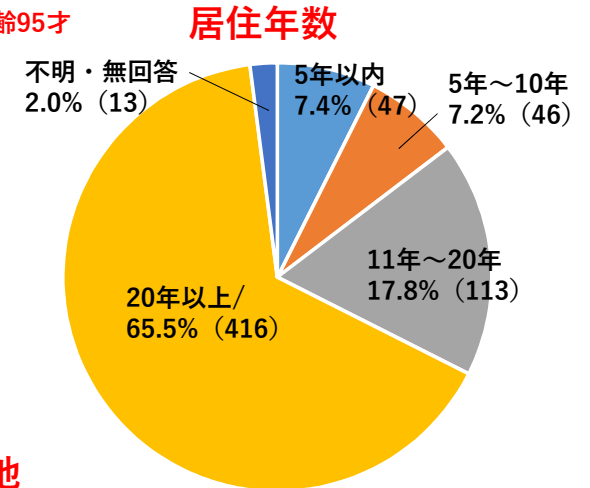
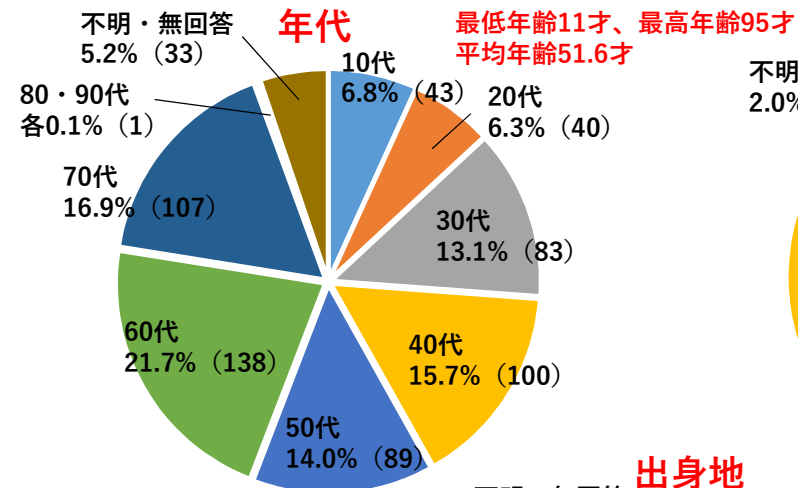
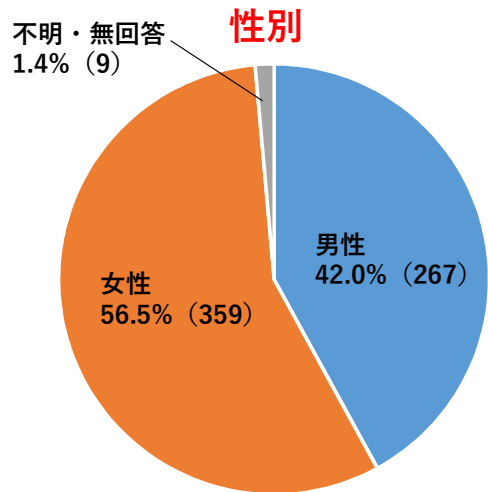
# 2.

## 調査対象者属性

---

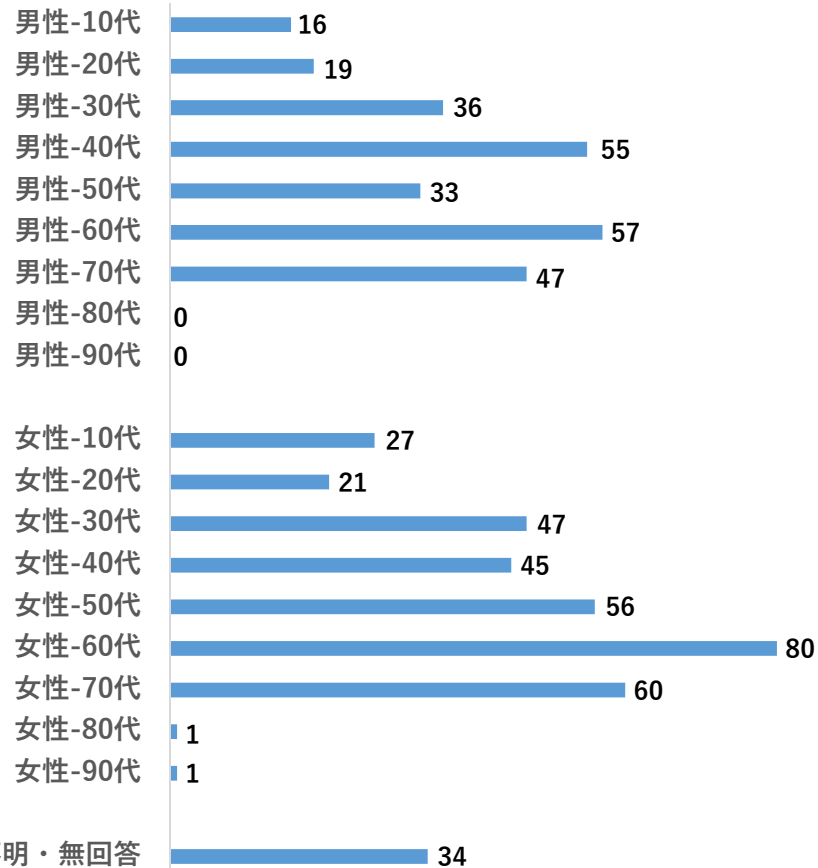


調査票送付対象者数	回収サンプル数	回収率
2,800通	635	22.7%

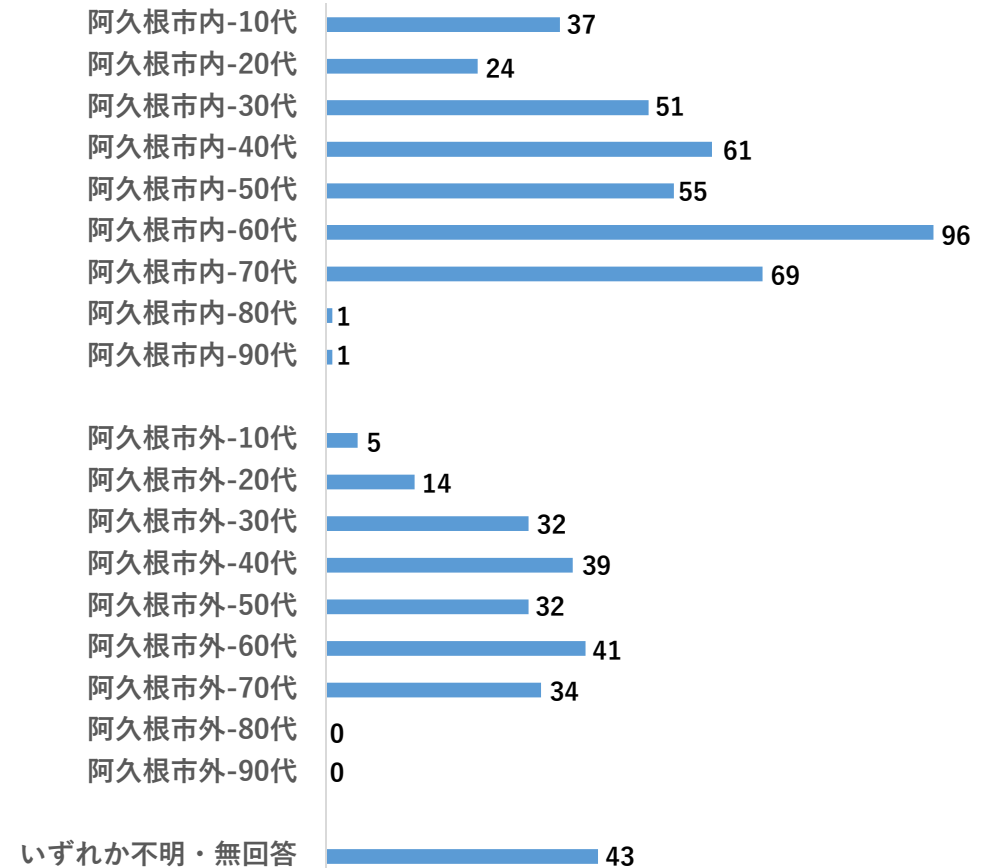


n = 635

性別/年代別

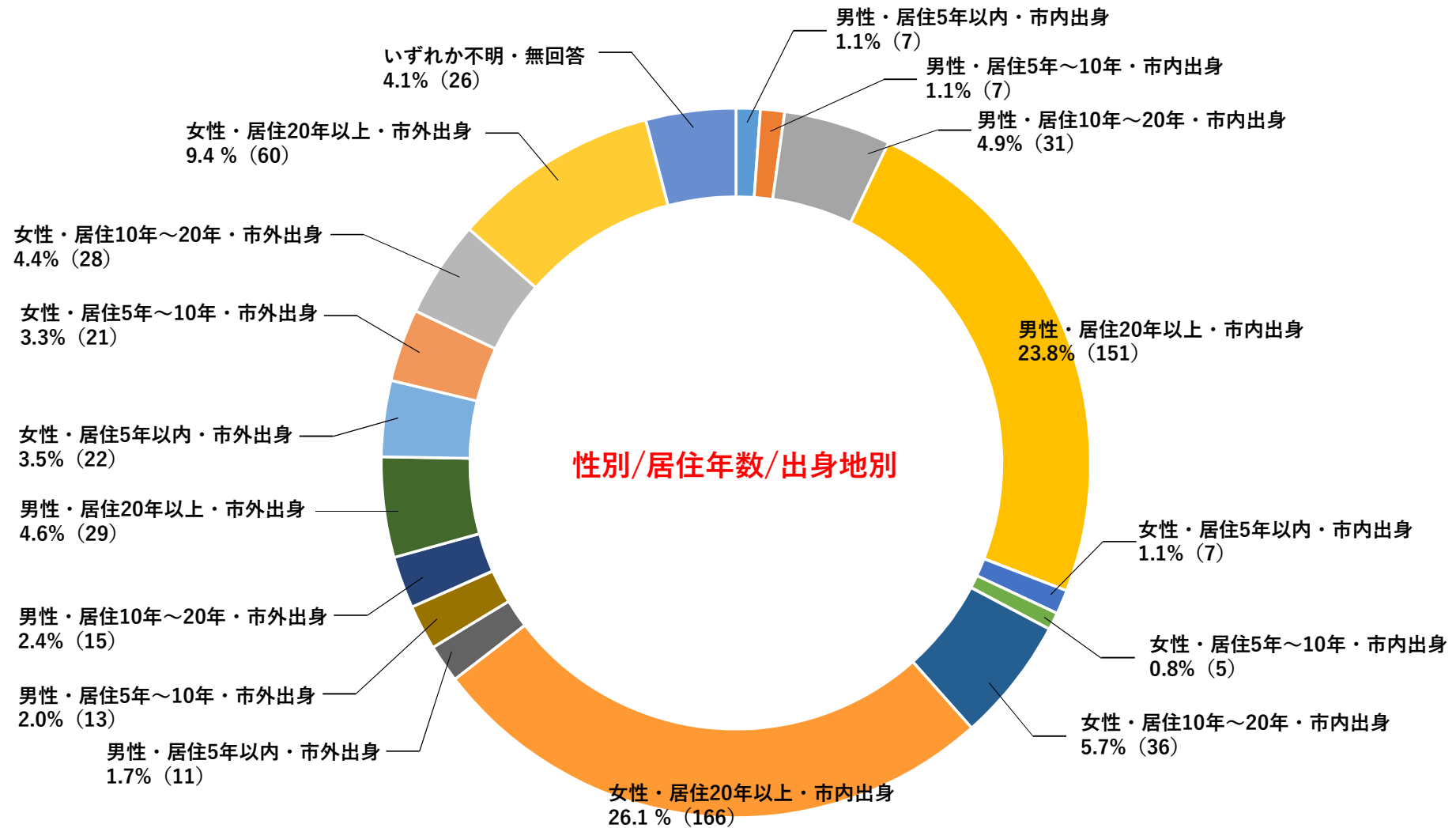


出身地/年代別



- ✓ 最も多い性年代は**60代の女性**
- ✓ 20代は男女ほぼ半々だが、10代は女性の割合が多い

- ✓ 最も多い出身地年代は**阿久根市内出身の60代**
- ✓ 20-50代は概ね市内出身約6割：市外出身約4割の割合



✓最も多い属性は「女性・居住20年以上・市内出身」。以下「男性・居住20年以上・市内出身」「女性・居住20年以上・市外出身」の順。

# 3.

## 設問別調査結果

---





**Q1. 現在の阿久根市の好きな所や良い所、対外的にもっとアピールできると思う点を、  
以下の項目から3つ選び、その番号を○で囲んでください。**

- ①豊かな自然環境 ②一年中温暖な気候 ③農水産物や各種加工品 ④食・グルメ全般  
⑤観光スポット（具体的名称： ） ⑥市の各種施設・設備  
⑦先人達が築いてきた歴史や文化 ⑧伝統行事や郷土芸能（具体的名称： ）  
⑨市の農業 ⑩市の水産業 ⑪市の小売業 ⑫市の観光業  
⑬市のその他の産業（具体的には？： ）  
⑭市のイベント・行事（具体的名称： ）  
⑮子育て環境 ⑯学校教育環境 ⑰医療・福祉 ⑱住環境（広さ、地代・家賃の安さ等）  
⑲高齢者サービスの充実 ⑳健康づくりの取り組み ㉑行き届いた地域コミュニティ ㉒住民の優しさ、人柄  
㉓暮らしに経済的な負担が少ない ㉔交通の利便性 ㉕治安の良さ  
㉖行政サービスの良さ（具体的には？： ） ㉗市長の人柄・キャラクター  
㉘働く環境 ㉙その他（ ） ㉚好きな所、良い所は特にない

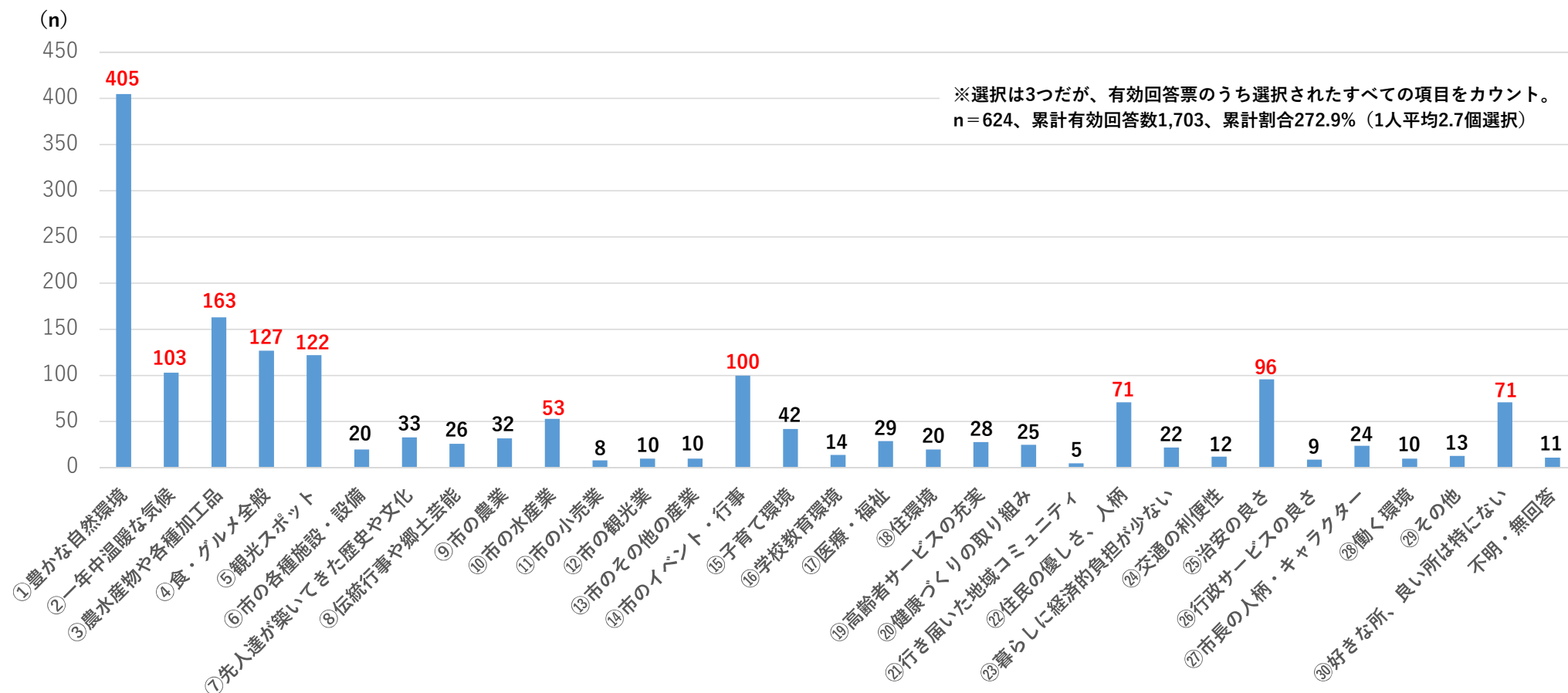
## Q1.

## 現在の阿久根市の好きな所や良い所、対外的にもっとアピールと思うできる点を複数選択

## サマリ

-  阿久根市の好き・良い・対外的に誇るべき所として最も多く選択されたのは「①**豊かな自然環境**」。全ての回答者属性に万遍なく全体で約6割以上の人に選択され、10代など若い年代層の選択率が高い傾向も見られた。
-  「①**豊かな自然環境**」に続き選択が多かったのは、それに関連する項目や地の特産物に関連する項目で、これら市の**先天的な天然資源に対する市民の好意度や愛着度の高さ**を裏付ける結果となった。
-  上記要素以外で選択が多かったのが、市の催しや自治、住民のヒューマニティーなどのいわば後天的な地域資源要素で、インフラ関連や制度的な項目より**人と人との関わりに関する項目の選択率が高かった**所は着目すべき点。
-  属性別で見た場合、平均値と比較して特徴的な傾向が出ている部分は全体的に少なかったが、**上記人と人との関わりに関する項目は長期在住者層の選択率が高く、居住年数が短い層は比較的選択率が低い**傾向が見られた。

# Q1. 阿久根市の好き・良い・誇るべき所（複数選択式）単純集計



✓ 圧倒的に得票数が多かったのは「①豊かな自然環境」。以下、2位「③農水産物や各種加工品」3位「④食・グルメ全般」といった地の特産物や食に関連する項目が続き、以下は「豊かな自然環境」と関連性が高い4位「⑤観光スポット」5位「②一年中温暖な気候」が続く。

✓ 6位は「⑭市のイベント・行事」で、市の催しに対する好意度の高さ、7位「⑲治安の良さ」8位「㉒住民の優しさ、人柄」からは、人が関わる要因による生活環境の良さ・暮らしやすさを享受している人の多さが窺える。尚「㉚好きな所、良い所は特にない」も高い数値となっている。

Q1.阿久根市の好き・良い・誇るべき所（複数選択式）全属性クロス集計

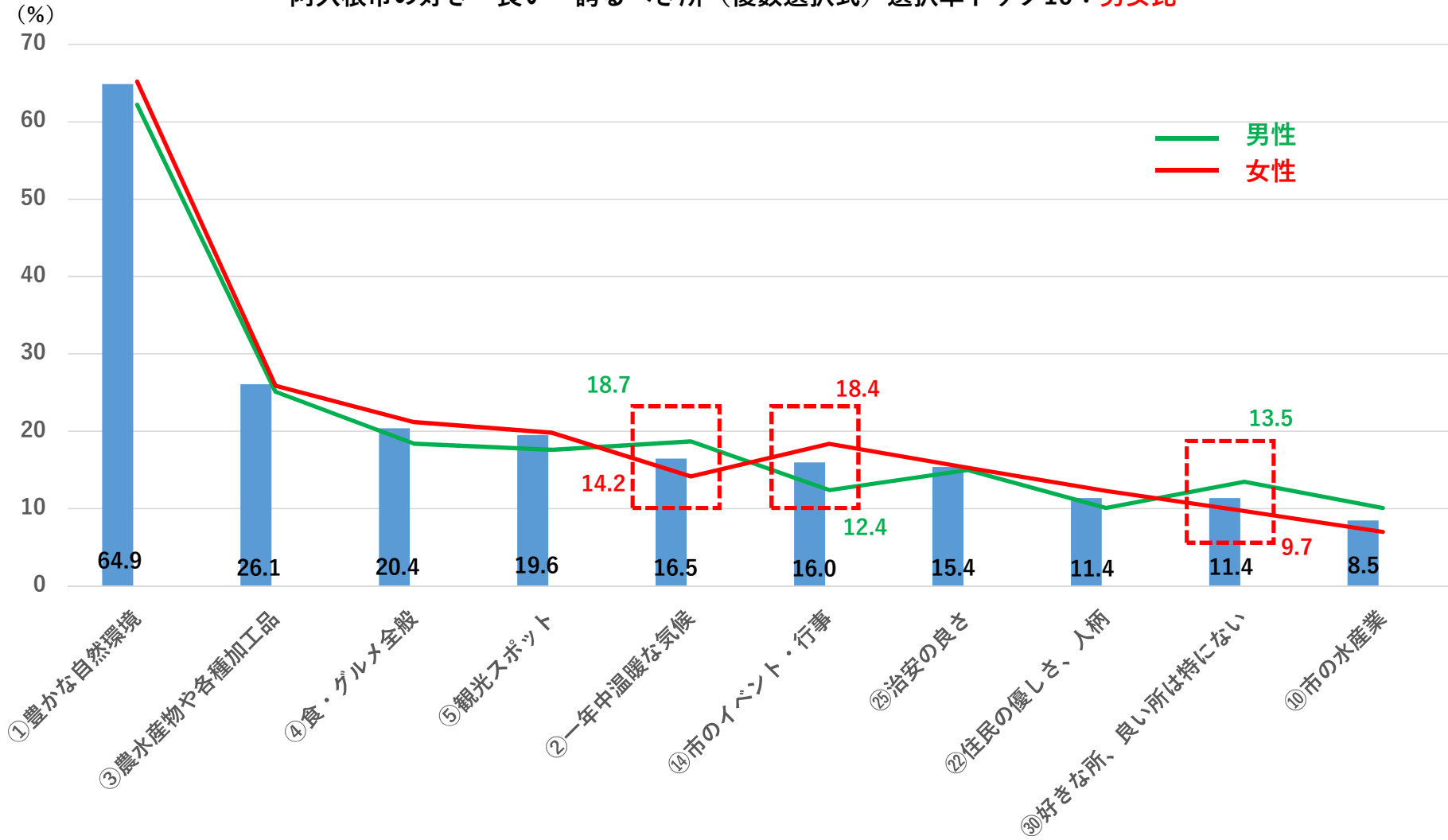
※全体値と比較して ■ +10ポイント ■ +5ポイント ■ -10ポイント ■ -5ポイント n=624

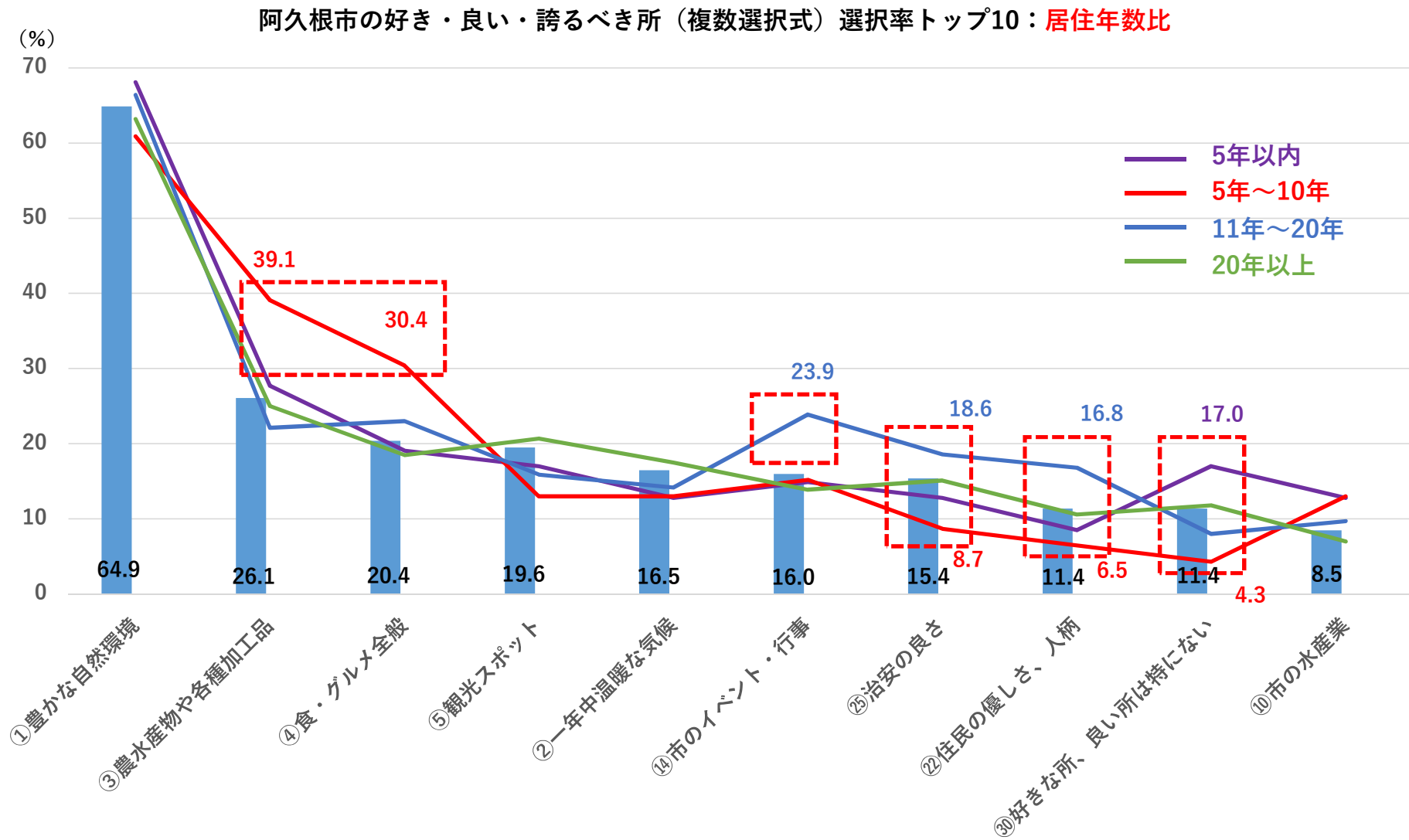
		Q1.阿久根市の好き・良い・誇るべき所（複数選択式）																														
合計		①豊かな自然環境	②一年中温暖な気候	③農水産物や各種加工品	④食・グルメ全般	⑤観光スポット	⑥市の各種施設・設備	⑦先人達が築いてきた歴史や文化	⑧伝統行事や郷土芸能	⑨市の農業	⑩市の水産業	⑪市の小売業	⑫市の観光業	⑬市のその他の産業	⑭市のイベント・行事	⑮子育て環境	⑯学校教育環境	⑰医療・福祉	⑱住環境	⑲高齢者サービスの充実	⑳健康づくりの取り組み	㉑行き届いた地域コミュニティ	㉒住民の優しさ、人柄	㉓暮らしに経済的負担が少ない	㉔交通の利便性	㉕治安の良さ	㉖行政サービスの良さ	㉗市長の人の人柄・キャラクター	㉘働く環境	㉙その他	㉚好きな所、良い所は特にない	
全体	624	405	103	163	127	122	20	33	26	32	53	8	10	10	100	42	14	29	20	28	25	5	71	22	12	96	9	24	10	13	71	
性別	男性	267	166	50	67	49	47	8	16	10	18	27	4	3	33	16	5	11	10	11	9	2	27	6	4	40	1	10	5	8	36	
性別	女性	359	234	51	93	76	71	12	16	16	14	25	4	7	66	25	9	17	10	16	16	3	44	16	8	55	8	14	5	4	35	
年代	10代	43	33	6	5	16	8	0	2	7	2	5	0	0	13	1	2	1	0	0	0	0	9	1	0	8	0	4	0	3	1	
年代	20代	40	23	5	8	10	9	2	2	3	2	4	2	1	5	1	2	0	3	0	0	6	3	0	7	0	2	1	2	7		
年代	30代	83	57	7	27	24	10	4	4	0	7	2	0	0	11	13	1	2	4	2	0	8	2	3	15	1	1	0	0	9		
年代	40代	100	61	24	34	23	6	2	1	3	3	1	0	2	20	12	4	1	3	1	1	0	11	4	0	15	1	3	0	3	13	
年代	50代	89	66	18	27	17	18	1	5	1	2	6	1	2	11	3	0	7	5	1	2	0	7	0	3	11	1	2	2	1	11	
年代	60代	138	91	16	25	26	36	7	7	5	5	11	0	5	21	8	5	9	4	11	7	2	18	4	1	20	3	6	4	2	16	
年代	70代	107	58	21	28	7	30	4	10	6	8	7	1	2	12	2	0	6	1	9	14	3	9	7	2	15	3	6	2	1	10	
年代	80代	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年代	90代	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
居住年数	5年以内	47	32	6	13	9	8	1	3	2	2	6	2	0	7	4	1	2	1	0	0	0	4	2	0	6	1	4	0	1	8	
居住年数	5年～10年	46	28	6	18	14	6	3	3	2	3	6	0	0	7	6	4	2	2	1	1	0	3	2	0	4	1	1	1	0	2	
居住年数	11年～20年	113	75	16	25	26	18	1	4	9	6	11	2	1	27	11	2	2	3	2	3	0	19	2	1	21	1	3	0	3	9	
居住年数	20年以上	416	263	73	104	77	86	15	22	13	21	29	4	9	58	20	7	21	14	25	21	5	44	16	10	63	6	16	9	8	49	
出身地	阿久根市内	416	268	70	94	77	81	11	23	18	23	32	5	7	60	24	8	20	12	22	16	3	49	15	8	70	6	16	8	11	43	
出身地	阿久根市外	200	123	30	60	49	37	9	8	7	8	19	3	2	36	18	6	7	8	5	8	0	20	7	4	25	3	8	2	1	27	
			61.5%	15.0%	30.0%	24.5%	18.5%	4.5%	4.0%	3.5%	4.0%	9.5%	1.5%	1.0%	18.0%	9.0%	3.0%	3.5%	4.0%	2.5%	4.0%	0.0%	10.0%	3.5%	2.0%	12.5%	1.5%	4.0%	1.0%	0.5%	13.5%	

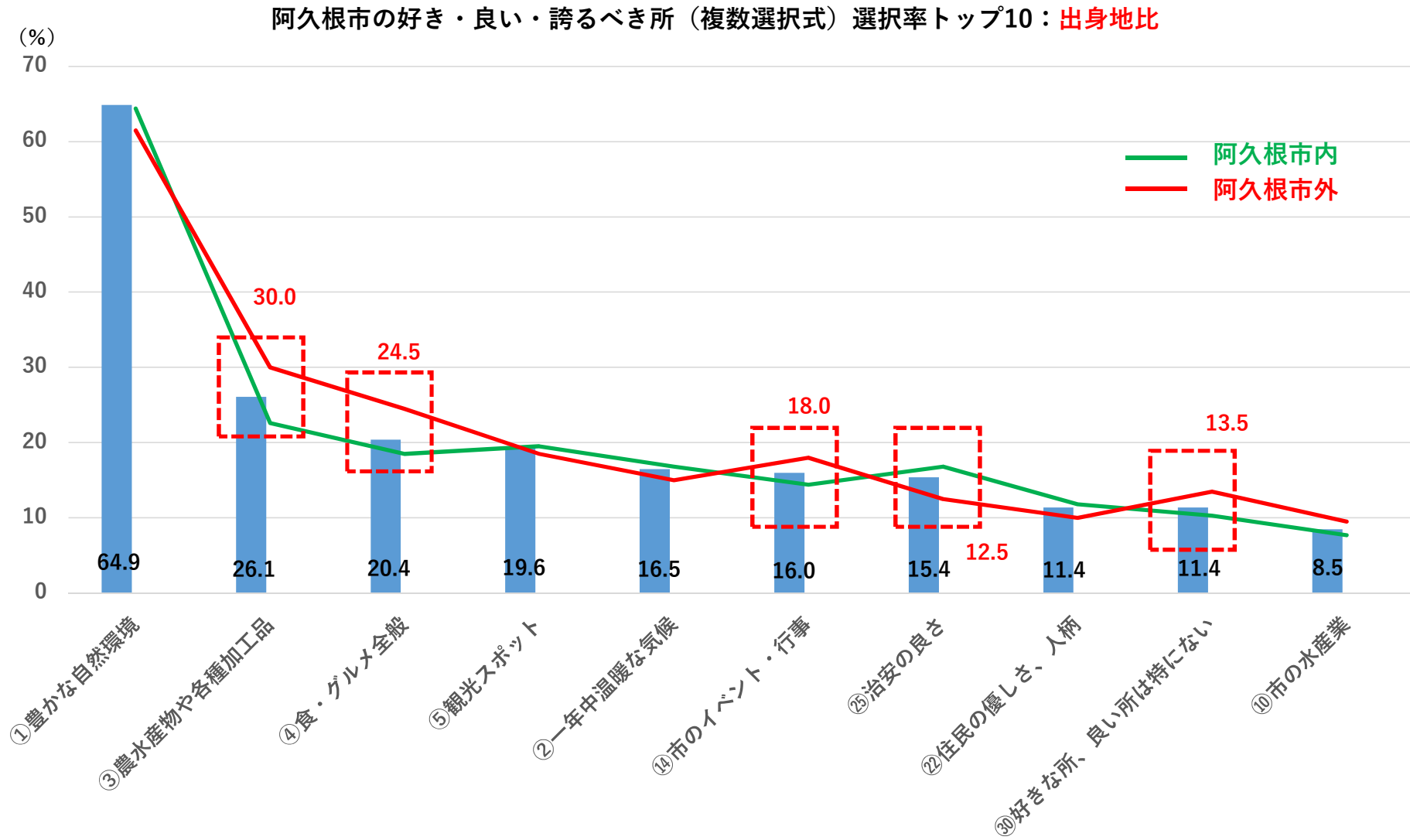
- ✓ 得票上位項目だった①～⑤のうち、年代で全体値との開きがある項目は「①豊かな自然環境」の10代の選択率の高さと70代の低さ、「③農水産物や各種加工品」の10代の低さ、「④食・グルメ全般」の10代の高さと70代の低さ、「⑤観光スポット」の40代の低さ、など。
- ✓ 「③農水産物や各種加工品」「④食・グルメ全般」の地の特産物関連は、年代以外では「居住5年～10年」の値が高い。
- ✓ 「⑩好きな所、良い所は特にない」は「20代」「居住5年以内」の数値がやや高い。



阿久根市の好き・良い・誇るべき所（複数選択式）選択率トップ10：男女比







「男女比」「居住年数比」「出身地比」の属性別傾向を受けた考察

- ✓ 「**居住5年～10年**」「**市外出身**」の属性は「**③農水産物や各種加工品**」「**④食・グルメ全般**」を多く選択している傾向があり、比較的近年に阿久根市に移り住んできた市民には阿久根市の地の特産物や食・グルメといった要素が高く評価されていると推察。
- ✓ 「**④市のイベント・行事**」は「**女性**」「**市外出身**」の属性が多く選択している傾向があるが、同項目では逆に「**男性**」「**市内出身**」は平均値と比較してやや低い傾向があり、意外に市の催し関連は市外出身者から支持されている面が窺える。
- ✓ 「**⑭市のイベント・行事**」「**⑮治安の良さ**」「**⑳住民の優しさ、人柄**」といった地域コミュニティや人と人との関わりに関連する項目の選択率が、「**居住11年～20年**」の属性が平均値と比較して高く、逆に「**居住5年～10年**」の属性がやや低い傾向があり、一定長期以上居住する事での住みやすさや暮らしやすさが読み取れる反面、居住年数が浅い人が感じている暮らしにくさも垣間見える。
- ✓ 「**⑳好きな所、良い所は特にない**」の選択率は「**男性**」「**20代（全体集計表参照）**」「**居住5年以内**」「**市外出身**」の属性が比較的高く、逆にこの項目の選択率が比較的低い（≒市への好意度が比較的高い）属性は、「**女性**」「**10代（全体集計表参照）**」「**居住5年～10年**」。

## Q1.⑤観光スポット・具体名称

具体名	n	%
阿久根大島	48	34.0%
脇本海岸、脇本	20	14.2%
番所丘公園	13	9.2%
海、海岸線、東シナ海	13	9.2%
夕日、夕陽、夕景	8	5.7%
牛之浜海岸	5	3.5%
道の駅阿久根	5	3.5%
黒之瀬戸	4	2.8%
佐潟鼻、佐潟の洞窟	4	2.8%
七不思議	3	2.1%
大川島海岸	2	1.4%
阿久根駅	2	1.4%
飛松海岸	1	0.7%
サンセットロード	1	0.7%
オレンジロード	1	0.7%
阿久根県立自然公園	1	0.7%
梶折鼻公園	1	0.7%
寺島宗則記念館	1	0.7%
脇本皿山窯跡	1	0.7%
深田地区の番所の鼻の海岸への直路整備	1	0.7%
グランピング	1	0.7%
農園	1	0.7%
戸柱	1	0.7%
AZ	1	0.7%
前グランビューからの眺望	1	0.7%
温泉	1	0.7%
不明	1	
全体	141	

✓ トップは「阿久根大島」。トップ10のうち大半が海に関連するスポット。

## Q1.⑧伝統行事や郷土芸能・具体名称

具体名	n	%
山田楽	9	32.1%
神舞	9	32.1%
ひな女祭り	4	14.3%
華の50歳組	3	10.7%
三尺棒	1	3.6%
阿久根みどこい夏祭り	1	3.6%
ボンタンロードレース	1	3.6%
全体	28	

✓ 「山田楽」と「神舞」が同率トップ。

## Q1.⑬市のその他の産業・具体名称

具体名	n	%
阿久根市産業祭	2	20.0%
ボンタンの生産	1	10.0%
タケノコ生産	1	10.0%
新鮮お魚まつり	1	10.0%
うに丼	1	10.0%
伊勢えび	1	10.0%
干物	1	10.0%
ゴルフ場の有効活用（ハイキングコース）	1	10.0%
温泉施設の設立	1	10.0%
全体	10	

✓ 票が割れたが、「産業祭」が2票でトップ。

※欄に複数の名称の記入があったものも基本的に全てカウント。

## Q1.⑭市のイベント・行事・具体名称

具体名	n	%
阿久根みどこい秋まつり花火大会	49	45.0%
ボンタンロードレース	15	13.8%
華の50歳組	13	11.9%
阿久根みどこいまつり（夏・秋）	10	9.2%
阿久根市産業祭	7	6.4%
阿久根みどこい夏まつり	4	3.7%
阿久根うに丼祭り	2	1.8%
ふかたみなとマーケット	2	1.8%
阿久根伊勢えび祭り	1	0.9%
あくね新鮮おさかな祭り	1	0.9%
風テラスでのコンサート	1	0.9%
九州選抜高等学校駅伝競走大会	1	0.9%
あくね洋画展	1	0.9%
華のBBQ AKUNE	1	0.9%
阿久根市総合文化祭	1	0.9%
不明	3	
全体	109	

✓花火大会があるみどこい秋まつりが他を大きく引き離してトップ。以下ボンタンロードレース、華の50歳組が続く。

※「祭り」「まつり」のみの記述は対象が不明のため無効とした。

※欄に複数の名称の記入があったものも基本的に全てカウント。

## Q1.⑳行政サービスの良さ・具体的には（原文通り）

具体的には
コロナ禍で、市民に寄り添った臨時の対策をとってくれた。（商品券等）
すぐたいおうしてもらえる事
他の市町村からすると悪いです
市の健康診断がある事
華の50歳組
市民相談室

## Q1.㉑その他（原文通り）

人が優しい
海でサーフィンができること
いいかんに面積が小さい
一次産業がさかん
スターゼンと提携して日本一の焼肉店作る
地図
あまり人がたくさんいないところ
おれ鉄からの景色
温泉
アピールできる所は何もないと思う
ふるさとだから
若者が働く企業、働ける場を増やしてほしい

**Q2. Q1で選んだ中から「いちばん当てはまると思うもの」を1つ挙げ、理由を具体的にお書きください。**

番号	当てはまると思う理由



## Q2.

## Q1で選択した項目のうち、最も当てはまると思うもの1つを選択

## サマリ



単一選択式でも他を引き離して**最も多く選択されたのは「①豊かな自然環境」、2位は「⑤観光スポット」となり、**市民の「阿久根の一番の資源は自然」の意識がより顕著に現れたためと思われるが、一方で**自然環境関連の項目の選択率が低い属性も目立ち、**少なからず「自然が一番」と考えない層の存在も浮き彫りとなった。



上記は特に**移住者と思われる層が自然環境関連の項目以外の、地の特産物や食・グルメ関連の項目を多く選択**している傾向があり、阿久根市のどちらかという物質的な楽しみや満足感、便益を享受しているものと思われる。



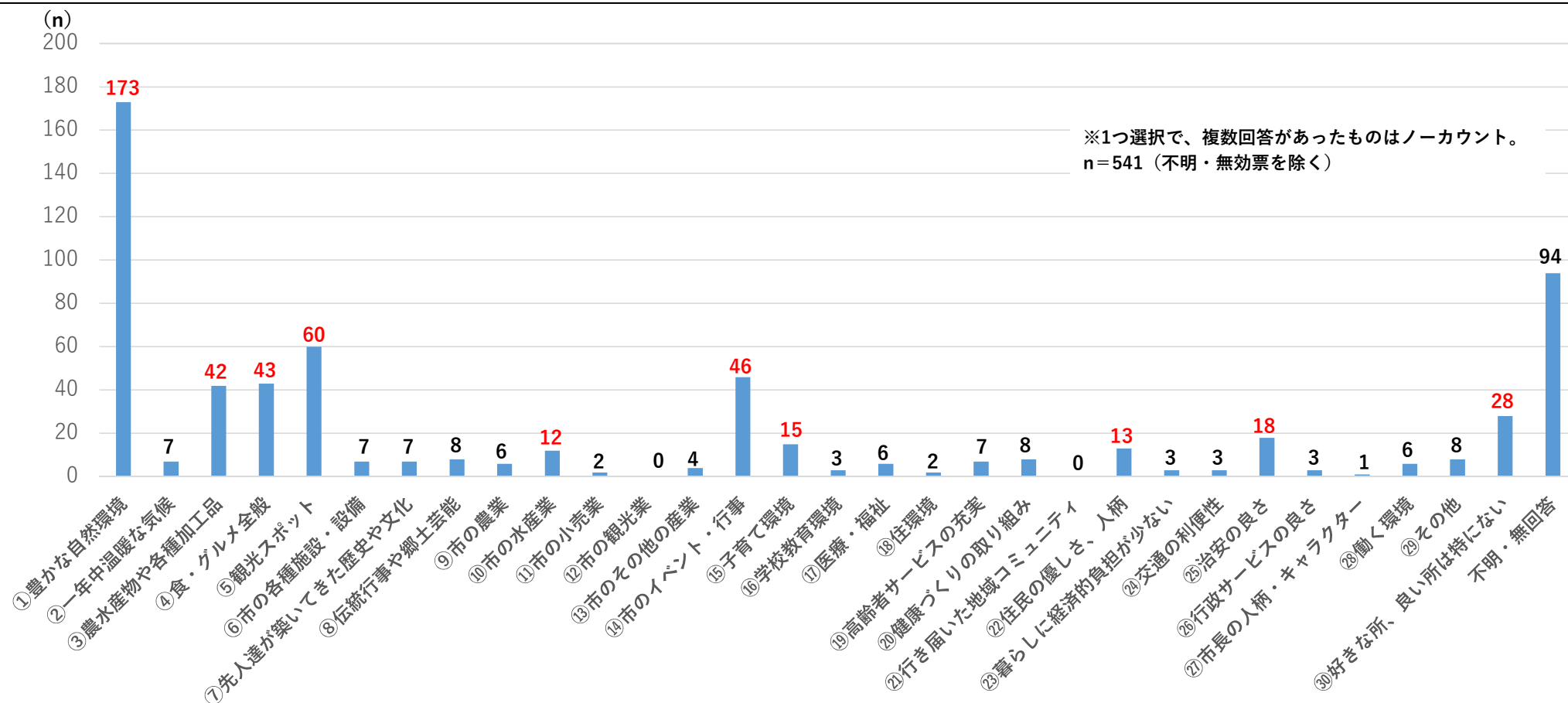
複数選択式で6位だった、先天的な天然資源以外の項目「⑭市のイベント・行事」が単一選択式では3位に入り、**市の催しに対する市民の好意度・愛着度の高さ**を裏付けていると考えられる。



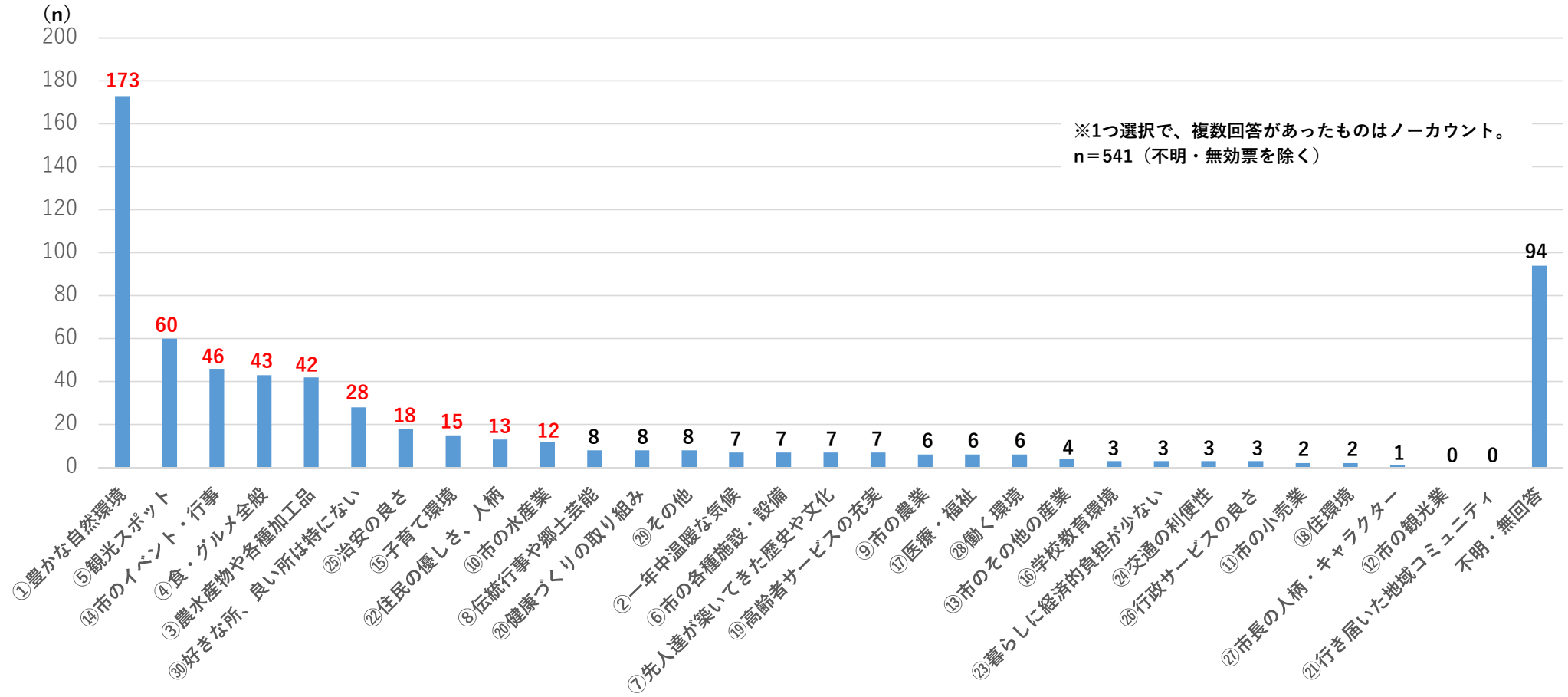
複数選択式では上位に入っていなかった「⑮子育て環境」が8位に。特に「市外出身で居住5年～10年の女性」の属性に多く選択されており、**移住して阿久根市の子育て環境の良さを実感している人たちの存在**を示唆している。



市の催しや自治、住民のヒューマニティーなどのいわば後天的な地域資源要素について、**居住年数が10年以下と10年以上で選択率が顕著に異なるものがある**ことから、長期の居住で環境や心理に変化が現れることを示唆している。



- ✓ 複数選択式と同じく他に抜きんでて得票数が多かったのは「①豊かな自然環境」で約3割以上の人を選択。
- ✓ 2位以下は複数選択式と順位が変わり、「⑤観光スポット」が得票2位、「⑭市のイベント・行事」が3位となり、地の特産物に関連する項目「④食・グルメ全般」「③農水産物や各種加工品」はそれぞれ4位・5位に順位を落としている。



【前ページグラフの得票順並べ替え】

- ✓ 複数選択式のQ1の得票数では10位圏外だった「⑮子育て環境」が8位にランクイン。
- ✓ 代わりに10位圏外に落ちている項目は、複数選択式で103票で得票数5位だった「②一年中温暖な気候」が単一選択式ではわずか7票だった。
- ✓ 単一選択式でも自然など先天的な天然資源項目が選択の1・2位を占めたが、3位に後天的な地域資源項目が入っている事は着目点。

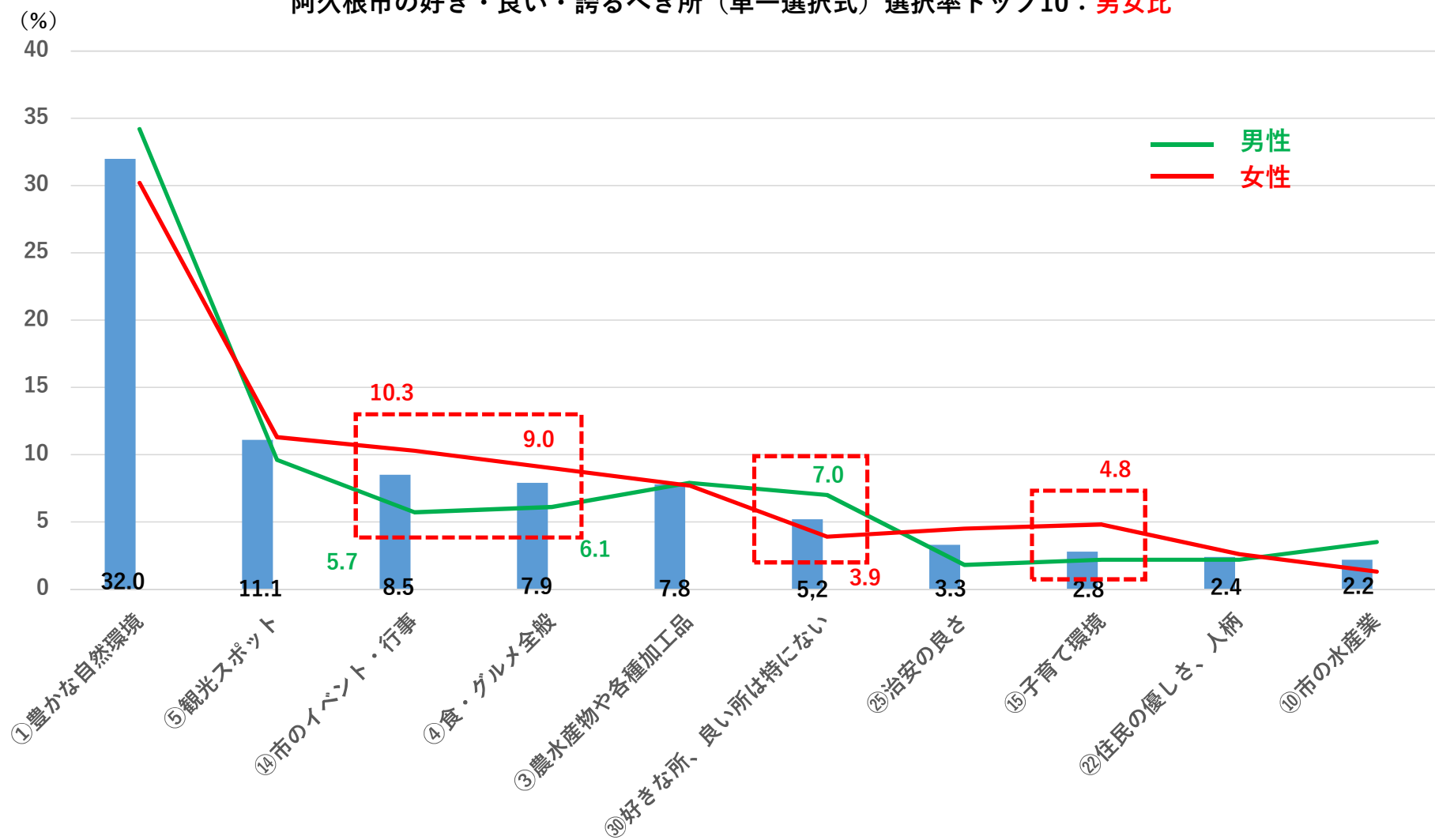
Q2.Q1で選んだ中から最も当てはまると思うもの（単一選択式）全属性クロス集計

※全体値と比較して +10ポイント +5ポイント -10ポイント -5ポイント n=541

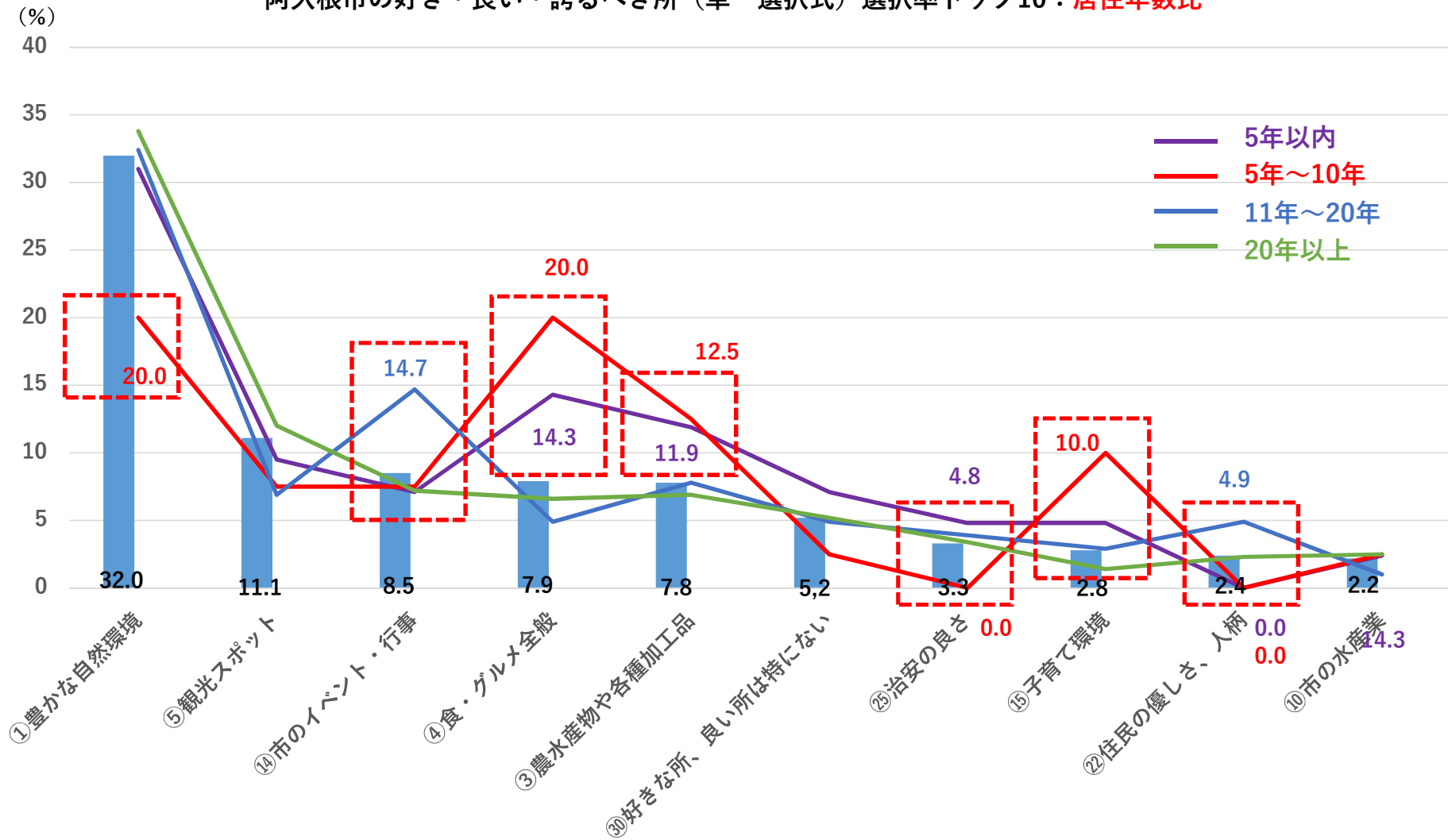
		Q2.Q1で一番当てはまると思うもの（単一選択式）																													
合計		①豊かな自然環境	②一年中温暖な気候	③農水産物や各種加工品	④食・グルメ全般	⑤観光スポット	⑥市の各種施設・設備	⑦先人達が築いてきた歴史や文化	⑧伝統行事や郷土芸能	⑨市の農業	⑩市の水産業	⑪市の小売業	⑫市の観光業	⑬市のその他の産業	⑭市のイベント・行事	⑮子育て環境	⑯学校教育環境	⑰医療・福祉	⑱住環境	⑲高齢者サービスの充実	⑳健康づくりの取り組み	㉑行きたる地域コミュニティ	㉒住民の優しさ、人柄	㉓暮らしに経済的負担が少ない	㉔交通の利便性	㉕治安の良さ	㉖行政サービスの良さ	㉗市長の人柄・キャラクター	㉘働く環境	㉙その他	㉚好きな所、良い所は特にない
全体	541	173	7	42	43	60	7	7	8	6	12	2	0	4	46	15	3	6	2	7	8	13	3	3	18	3	1	6	8	28	
性別	男性	228	78	2	18	14	22	2	4	5	5	8	2	0	13	5	1	2	1	2	2	0	5	1	2	4	0	0	4	7	16
	女性	311	94	5	24	28	35	5	3	3	1	4	0	1.3%	5.7%	2.2%	0.4%	0.9%	0.9%	0.0%	2.2%	0.4%	8	2	1	14	3	1	2	1	12
年代	10代	42	13	0	2	1	0	0	3	1	1	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	4	0	0	0	1	0
	20代	36	8	1	3	6	7	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	3
	30代	76	26	0	5	11	5	1	2	0	3	1	0	0	4	6	1	0	0	1	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	5
	40代	89	36	2	8	9	3	1	0	0	0	2	0	0	6	4	1	0	1	0	1	0	2	1	0	3	1	0	0	2	4
	50代	78	35	1	6	5	11	0	1	0	0	2	1	0	4	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	7
	60代	109	28	1	5	9	18	3	1	1	0	5	0	0	11	3	0	1	0	2	2	0	2	1	0	6	1	0	1	2	5
	70代	87	22	1	11	0	11	2	2	3	2	1	1	0	4	1	0	4	0	2	6	0	2	1	1	1	1	1	2	1	4
	80代	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	90代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居住年数	5年以内	42	13	1	5	6	4	0	1	0	1	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3
	5年～10年	40	8	0	5	8	3	0	1	0	2	1	0	0	3	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	1	0	1	1
	11年～20年	102	33	1	8	5	7	0	2	4	2	1	0	0	15	3	0	0	1	1	3	0	5	0	1	4	0	0	0	1	5
	20年以上	349	118	5	24	23	42	7	4	3	2	9	2	0	25	5	2	6	1	6	4	0	8	3	2	12	2	1	5	6	18
出身地	阿久根市内	355	126	5	24	16	37	5	4	8	4	9	2	0	28	6	2	5	2	7	4	10	2	1	15	2	1	5	7	15	
	阿久根市外	172	43	2	17	26	19	2	3	0	2	3	0	0	15	9	1	1	0	0	4	0	3	1	2	3	1	0	1	13	

- ✓ 上位項目①⑤⑭④③のうち、全体値と大きく開きがある項目は「①豊かな自然環境」の50代の数値の高さと居住年数5年～10年の低さ、「④食・グルメ全般」の居住年数5年～10年の高さ、「⑭市のイベント・行事」の10代の大幅な高さ、など。
- ✓ 1位「①豊かな自然環境」では他に20代・60代・70代・市外出身の選択率が低い傾向にも着目。単一選択式では選択していない属性が目立つ。
- ✓ 同じ自然環境関連要素の「⑤観光スポット」も10代・40代の選択率がやや低い。

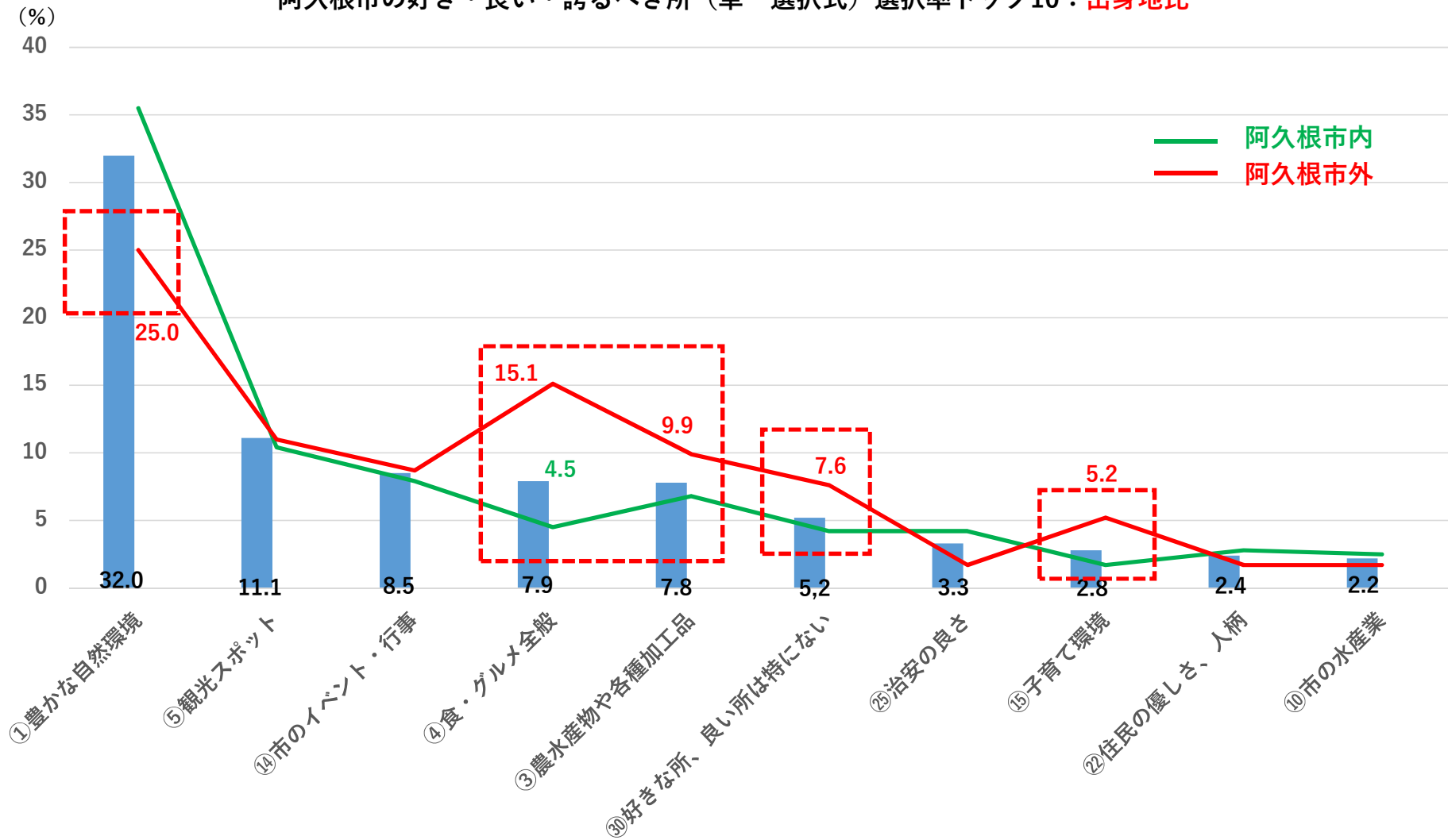
阿久根市の好き・良い・誇るべき所（単一選択式）選択率トップ10：男女比



阿久根市の好き・良い・誇るべき所（単一選択式）選択率トップ10：居住年数比



阿久根市の好き・良い・誇るべき所（単一選択式）選択率トップ10：出身地比



「男女比」「居住年数比」「出身地比」の属性別傾向を受けた考察

- ✓ 「①豊かな自然環境」は、複数選択式のQ1では過半数の属性で選択されているが、単一選択式のQ2における同項目は、「居住5年～10年」「市外出身」の属性の選択率が低い代わりに「④食・グルメ全般」「③農水産物や各種加工品」の選択率が高い傾向があり、同属性は阿久根市の自然環境要素より地の特産物や食・グルメ関連要素に対する好意度・満足度の方が高いと思われる。
- ✓ 「居住5年以内」の属性は、自然環境的な項目「①豊かな自然環境」「⑤観光スポット」ではほぼ平均値に近い数値だが、「③農水産物や各種加工品」「④食・グルメ全般」が「居住5年～10年」と同様に高い傾向があり、居住直後で自然や「地のもの」を楽しんでいる様子が窺える。
- ✓ 居住年数比では、「居住5年～10年」が「②⑤治安の良さ」「②②住民の優しさ、人柄」が選択ゼロ、「居住11年～20年」が「①④市のイベント・行事」「②②住民の優しさ、人柄」の選択率が高くなっており、移住者が10年以上居住すると周囲との交流を含めた地域住民としての存在感や地元に対する愛着度がより深まるためと推察される。
- ✓ 複数選択式のQ1では上位に入っていなかった「①⑤子育て環境」をQ2で多く選択したのは「女性」「20代（全体集計表参照）」「居住5年～10年」「市外出身」の属性で、子育てを目的として市外より移住して来たか、移住してみて結果的に阿久根市の子育て環境の良さをいま現在享受している人が多く存在する可能性を示唆している。

Q2.記入式回答「当てはまると思う理由」については、別紙資料「記入式回答一覧」をご参照ください。








**Q3. 現在の阿久根市でふだんより課題だと感じている点を、  
以下の項目から3つ選び、その番号を○で囲んでください。**

- ①交通の便が悪い ②少子化・人口減少 ③雇用・働き場が少ない ④お店や飲食店が少ない ⑤娯楽やレジャーが少ない
- ⑥イベントや行事が少ない ⑦物価や光熱費、税金など生活インフラ費 ⑧住環境(地代・家賃が高い、狭い等)
- ⑨学校教育環境(学校が遠い、選択肢が少ない、生徒や先生に問題がある等)
- ⑩医療・福祉 ⑪高齢者へのサービス不足 ⑫子育て環境(保育園・幼稚園の数、母親の働く場等) ⑬消防・防災
- ⑭自然環境保全 ⑮文化・スポーツ振興 ⑯市の施設(具体的には? : )
- ⑰治安の悪さ ⑱地域の風土・風習 ⑲人付き合いの面倒さ・地域コミュニケーション ⑳市の対外広報・PR
- ㉑行政サービス(具体的には? : )
- ㉒市政の在り方(具体的には? : )
- ㉓その他( ) ㉔嫌いな所や課題は特にない

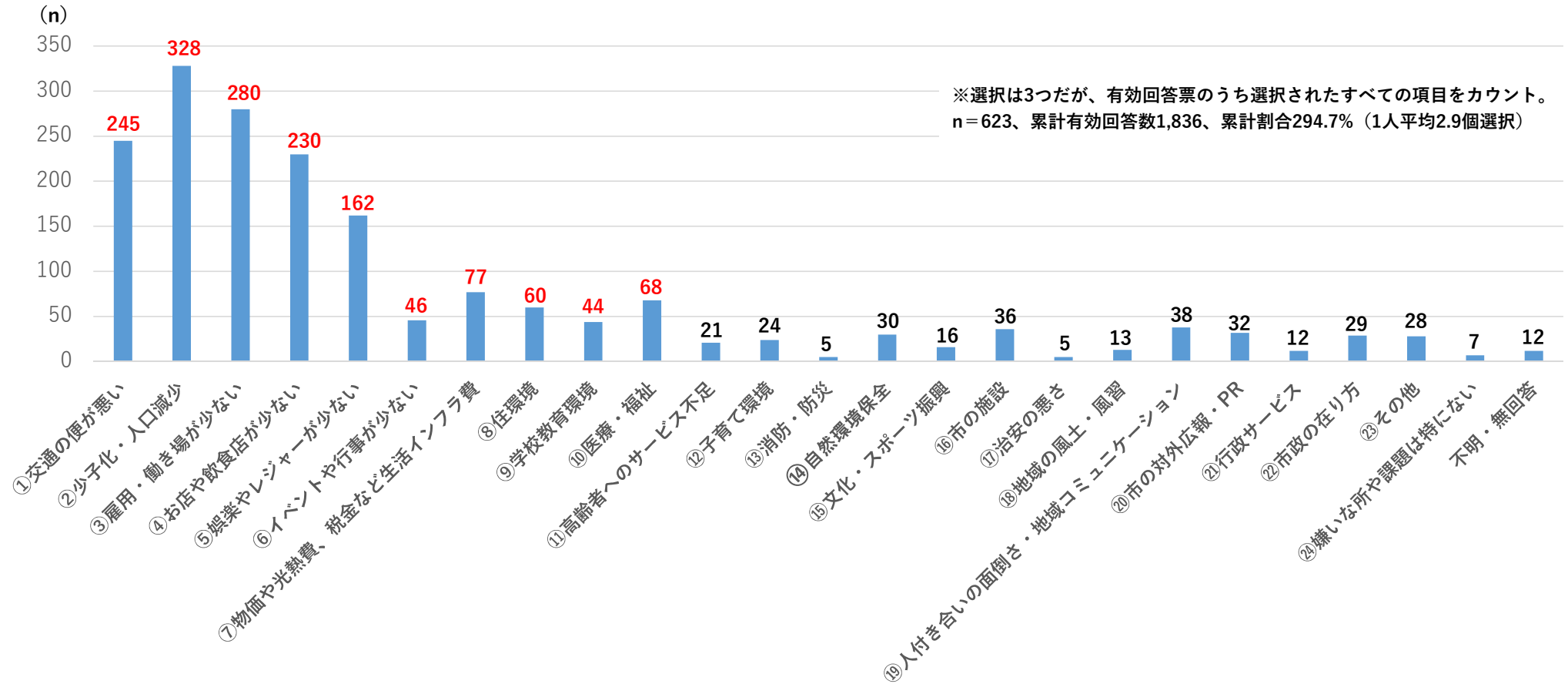
## Q3.

## 現在の阿久根市でふだんより課題を感じている点を複数選択

## サマリ

-  選択項目の1・2位となったのは少子化や人口減少、雇用や働き場に関する、市の将来展望に密接に関連した項目。特に長期在住の中高年男性に多く選択されている傾向があり、後継者問題や働き場不足などに直接・間接的に関わりがあり問題視している人が多いと推察される。
-  上位項目で選択が多かったカテゴリーとしては、3～5位は生活上の身近な不便さや不満に関する項目、6位～8位は暮らしや生活インフラなどに関する項目となっているが、**1・2位のみならず選択上位項目は全て将来的な市の定住人口および交流・関係人口増加の動きに関連する課題**との見方もできる。
-  「居住5年以内」の属性は身近な生活上の不便さ・不満に関連した項目、「居住5年～10年」の属性は暮らしや生活インフラに関連した項目を多く選択している傾向があり、**移住後の居住年数に伴う生活環境・心境の変化**が窺える。
-  「①交通の便が悪い」の選択率が最も高い属性は移動の足を持たない「10代」だが、「**居住11年～20年**」の属性の**選択率も高く**、自身の将来的な生活の足について不安視・問題視する人が選択していると思われる。
-  「⑩医療・福祉」は「**市外出身で居住5年～10年の女性**」の属性の**選択率が高い**傾向があり、移住前の自治体と比較した不満や課題感が顕在化していると推察される。

### Q3. 阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）単純集計



- ✓得票数トップは「②少子化・人口減少」。続く「③雇用・働き場が少ない」と合わせ、市の将来展望に関連した項目の選択が高い結果となった。
- ✓続く3位・4位・5位は「①交通の便が悪い」「④お店や飲食店が少ない」「⑤娯楽やレジャーが少ない」となり、どちらかというといま現在の生活における身近な不便さ・不満が現れていると思われる。
- ✓続いて「⑦生活インフラ費」「⑩医療・福祉」「⑧住環境」といった、暮らし・生活インフラに関連する項目が上位となった。

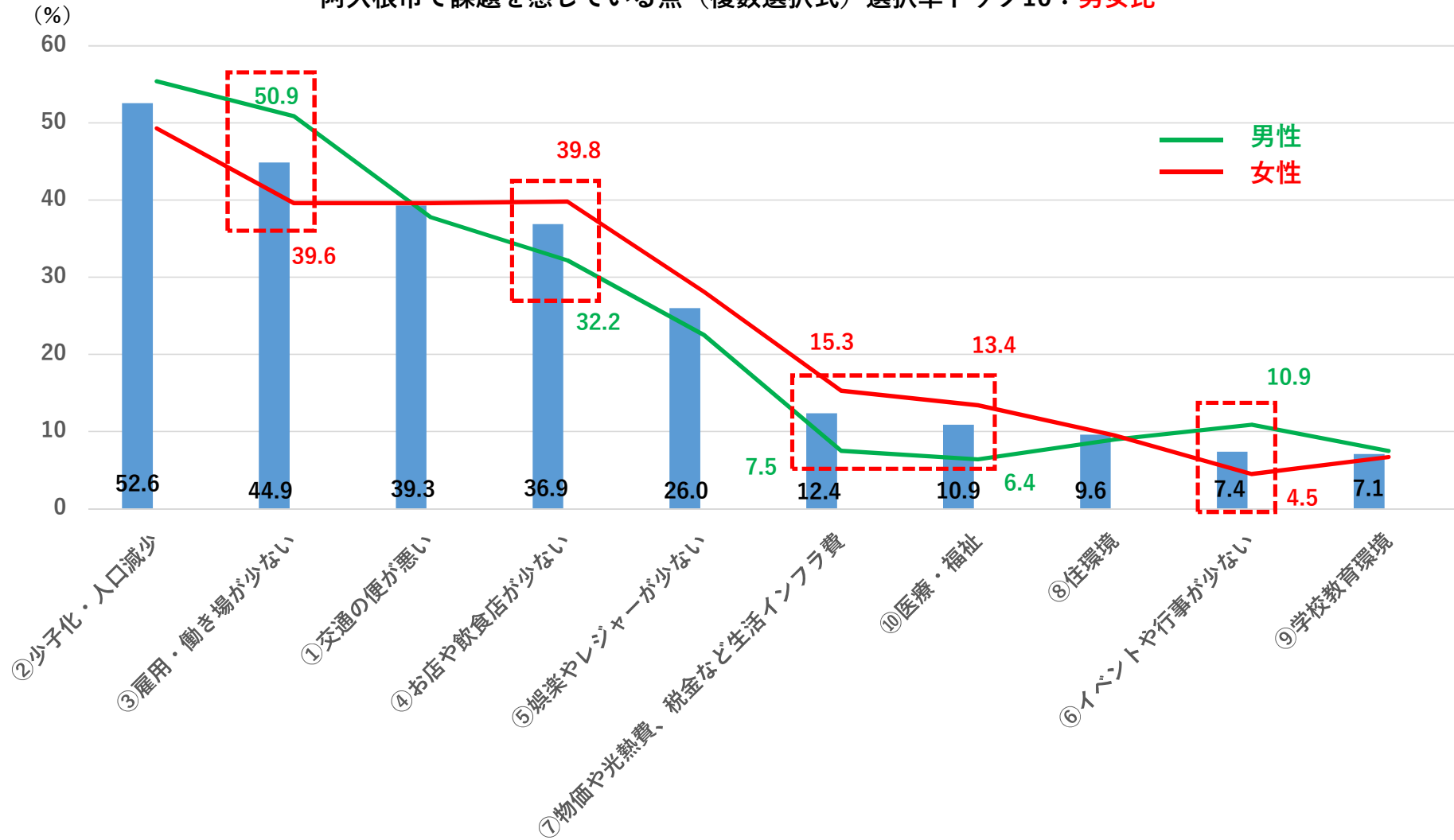
Q3.阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）全属性クロス集計

※全体値と比較して +10ポイント +5ポイント -10ポイント -5ポイント n=623

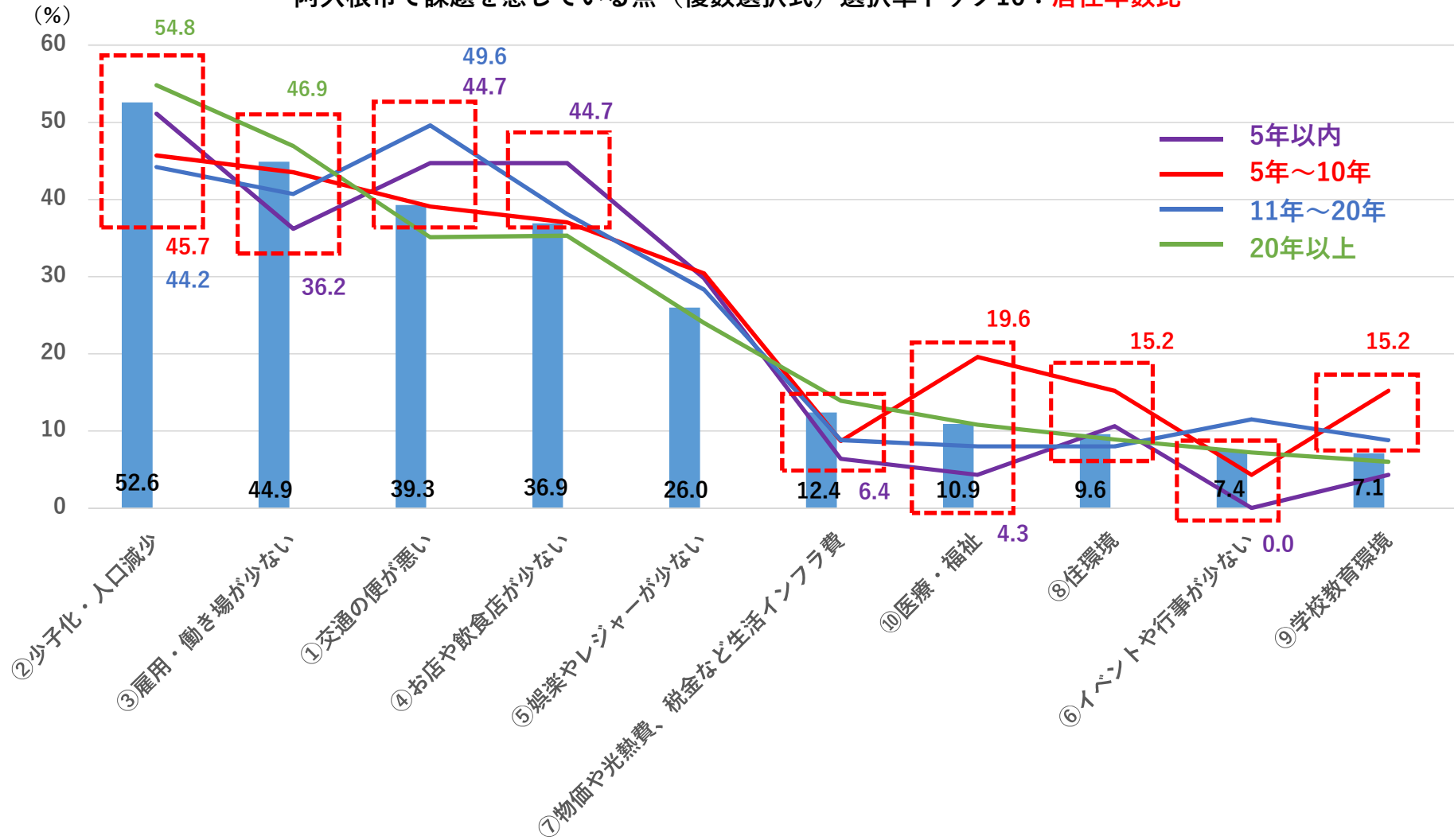
		Q3.阿久根市で課題だと感じている点（複数選択式）																											
合計		①交通の便が悪い	②少子化・人口減少	③雇用・働き場が少ない	④お店や飲食店が少ない	⑤娯楽やレジャーが少ない	⑥イベントや行事が少ない	⑦物価や光熱費、税金など生活インフラ費	⑧住環境	⑨学校教育環境	⑩医療・福祉	⑪高齢者へのサービス不足	⑫子育て環境	⑬消防・防災	⑭自然環境保全	⑮文化・スポーツ振興	⑯市の施設	⑰治安の悪さ	⑱地域の風土・風習	⑲人付き合いの面倒地域コミュニケーション	⑳市の対外広報・PR	㉑行政サービス	㉒市政の在り方	㉓その他	㉔嫌いな所や課題は特にない				
全体	623	245	328	280	230	162	46	77	60	44	68	21	24	5	30	16	36	5	13	38	32	12	29	28	7				
性別																													
男性	267	101	148	136	86	60	29	20	24	20	17	10	11	4	14	13	12	4	9	18	11	5	18	16	3				
女性	359	142	177	142	143	101	16	55	34	24	48	11	13	1	16	2	24	1	4	18	20	6	10	11	4				
年代																													
10代	43	32	22	12	18	18	5	2	2	5	0	1	0	0	0	2	3	1	0	2	1	0	0	1	0				
20代	40	11	16	17	16	17	5	2	4	1	4	0	2	0	1	0	0	0	2	1	5	1	2	4	1				
30代	83	21	33	35	44	31	5	11	14	11	9	2	5	2	3	0	6	1	4	10	4	1	2	5	0				
40代	100	45	49	49	35	26	4	8	9	8	11	3	6	1	1	1	5	1	2	7	3	2	6	8	2				
50代	89	39	47	51	32	21	4	6	6	4	7	2	3	1	2	3	6	0	1	6	4	2	6	1	0				
60代	138	43	88	61	40	26	11	23	9	8	16	5	4	0	14	7	10	1	4	5	11	1	5	5	0				
70代	107	44	62	45	29	12	9	15	7	6	12	5	4	1	7	2	5	1	0	4	3	4	7	3	4				
80代	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
90代	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
居住年数																													
5年以内	47	21	24	17	21	14	0	3	5	2	2	2	2	0	2	1	4	2	1	1	2	2	1	5	1				
5年～10年	46	18	21	20	17	14	2	4	7	7	9	4	0	0	1	0	3	0	3	4	8	0	0	4	0				
11年～20年	113	56	50	46	43	32	13	10	9	10	9	1	5	1	1	1	9	1	1	10	5	2	6	3	3				
20年以上	416	146	228	195	147	100	30	58	37	25	45	14	16	4	26	13	20	2	8	21	16	7	21	15	3				
出身地																													
阿久根市内	416	159	216	190	154	112	28	54	36	32	37	15	17	3	21	13	20	4	8	25	21	7	18	15	3				
阿久根市外	200	81	103	85	72	47	15	20	21	12	28	6	6	2	7	2	15	1	5	8	10	4	10	12	4				

- ✓ 上位項目①～⑤のうち、全体値と比較して選択率が高い年代を挙げると「②少子化・人口減少」の60代、「③雇用・働き場が少ない」の50代、「①交通の便が悪い」の10代、「④お店や飲食店が少ない」の30代、「⑤娯楽やレジャーが少ない」の10-30代など。
- ✓ 上位①～⑤は年代以外では「①交通の便が悪い」の「居住11～20年」の属性の値が高い。
- ✓ 「①交通の便が悪い」「②少子化・人口減少」20-30代の選択率が低く、自身が車を持つ子育て世代で実感値がないためと考えられる。

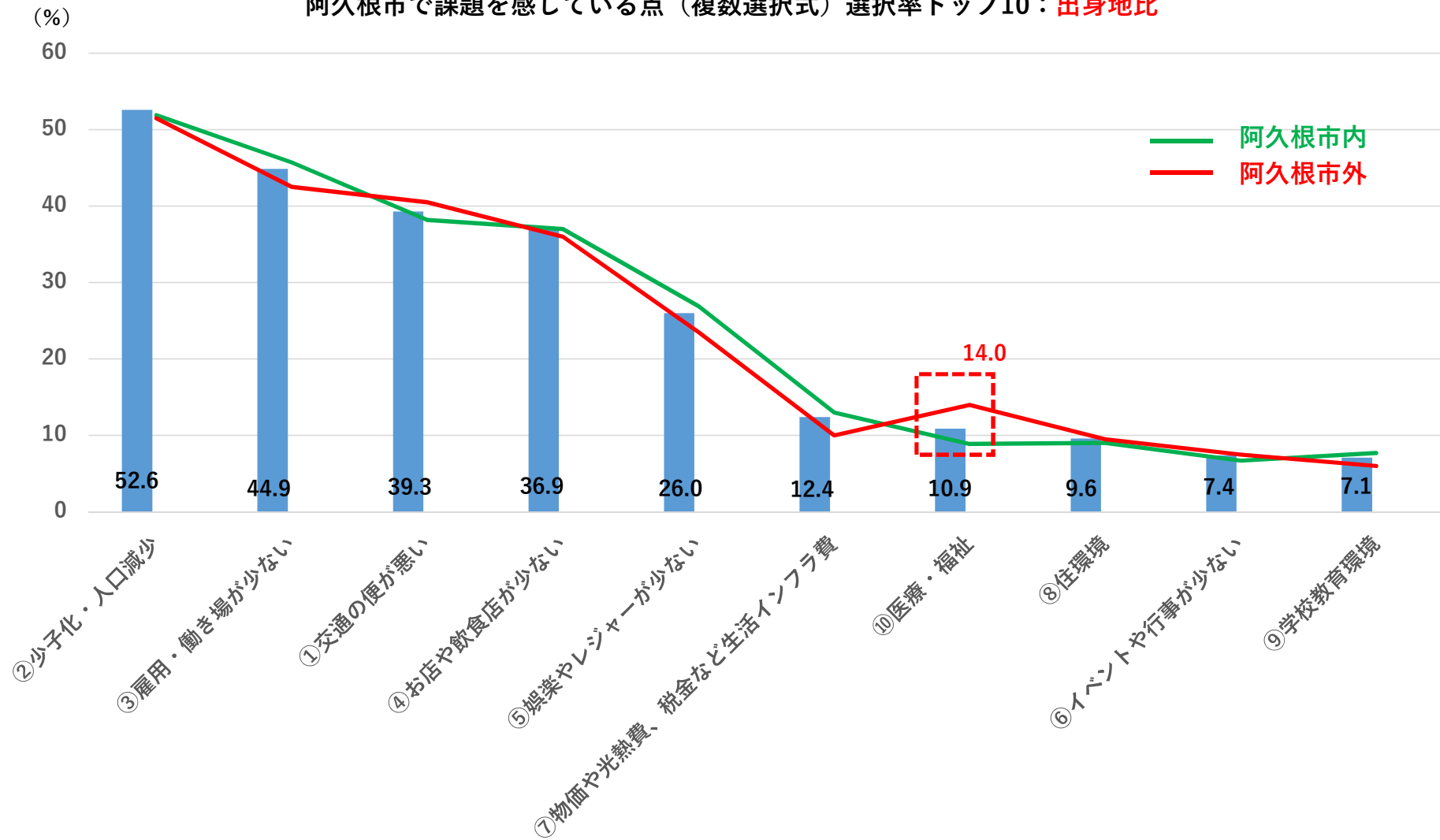
阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）選択率トップ10：男女比



阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）選択率トップ10：居住年数比



阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）選択率トップ10：出身地比





## 「男女比」「居住年数比」「出身地比」の属性別傾向を受けた考察

- ✓ 「②少子化・人口減少」「③雇用・働き場が少ない」といった市の将来展望に関連した項目の選択率が比較的高いのは、「男性」「50-60代（全体集計表参照）」「居住20年以上」の属性で、働き場不足や後継者問題などに直接ないし間接的に関係し問題視している人たちが選択しているのではないかと考えられる。
- ✓ 「居住5年以内」の属性は「③雇用・働き場が少ない」「⑦～生活インフラ費」「⑩医療・福祉」の選択率が低い。自身または家族の市内への就労を理由にした移住直後かつ、在住期間が短いゆえ生活インフラ面での不満等がまだ顕在化していないと推察。一方で同層は「①交通の便が悪い」「④お店や飲食店が少ない」の選択率は高く、身近な暮らしの面での不満度は既に顕在化していると思われる。
- ✓ 「居住5年～10年」の属性は、生活インフラ関連の「⑩医療・福祉」「⑧住環境」のほか、「⑮学校教育環境」の選択率が高い事にも着目。阿久根市に一定期間居住し、子どもの学校教育環境含めた家族の暮らし・生活基盤に関する悩みや不安が現れていることが窺える。
- ✓ 「①交通の便が悪い」について、自家用車を保有し日ごろ運転していると思われる「居住11年～20年」の選択率が高いのは、自身が現在高齢もしくは近い将来に高齢となった時の生活の足について不安視・問題視しているためと推察される。
- ✓ 本設問では出身地による選択率の差異はほぼなく、出身地を問わず同じような傾向の課題感を持っていると思われるが、「⑩医療・福祉」のみ「市外出身」の選択率がやや高く、同様に「女性」「居住5年～10年」もやや高い傾向にあることから、移住前の他自治体と比較した医療・福祉関連への不満や課題感を持った人が選択していると考えられる。



Q3. 阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）記入回答欄集計 I

Q3.⑯市の施設・具体的に

具体名	n	%
図書館	13	44.8%
市役所	3	10.3%
公園（が少ない）	3	10.3%
番所丘公園	3	10.3%
プール開放時間	1	3.4%
児童館がない	1	3.4%
宿泊地が少ない	1	3.4%
郷土資料館の充実	1	3.4%
防災避難所	1	3.4%
廃校、プールを何十年間も放置	1	3.4%
風テラスの利用度	1	3.4%
シャッターアートの劣化	1	
全体	29	

✓ トップは他を大きく引き離し「図書館」。

※欄に複数の名称の記入があったものも基本的に全てカウント。

Q3.⑳行政サービス・具体的には（原文通り）

シルバー人材センターの人員不足？
小学校などの給食が美味しくない
ゴミの分別くわしい方法を書面で住民に配布して欲しい
空き家のリフォーム代
給料ににあった仕事をするべき！
「わからない」ということで市民の疑問に答える意欲がない。総務課主体の職員研修は役立たない。
各課窓口がいいかげん。23区や大阪市など出向して学んで来て欲しい
行政中心
市民の為になる事はしていない事です（自分達の事だけで何をすることも予算がないと実際言われてはダメですよ 市民の為の努力が不足していませんか
市職員の教育
臨時職員をもっと多く雇用してほしい。

Q3. 阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）記入回答欄集計Ⅱ

Q3.②市政のあり方・具体的には（原文通り）

道路環境
風テラス、阿久根駅、「宿」マークの宿泊施設 お宿みどこい？
「華の50歳組」への中途半端な行政の介入
市議会議員の給料制から日当制にした方が良いのでは
企画力が無い→無いので外部の人に頼ろうとする。市役所の業務効率悪い→悪いのでレスポンスが悪い。
市職員を育てるシステムがない。個人の生活体験に任せっ放し。 議員がいばりすぎ。
アイデアを微塵も感じない
市長、市役所、市議会どれも身内にばかりやさしく市民にはきびしい
全部
民生員の仕事 市職員ではだめなのか
集落はコミュニティの基本である。その集落離れが気になる。
阿久根を良くする気を感じない
変化しないと、阿久根の未来はないと思う
事務的な事だけでなく、外にも目を向けてほしい
もめ事が多い
生活保護
ずっと住みたいと思える街づくりを期待したい。
ヤル気が無い！！
広告戦略が下手すぎてガッカリだよ！！！！
選挙対策の政治
市民の代表で有るべき
市長の政策推進力、議会の能力のなさ、外から企業を引っ張ってくる力のなさ
職員、議員のレベルの低さ、公共性に欠ける
市民の意見をもっと詳しく何をしてほしいのかしっかり聴く

## Q3.㉓その他（原文通り）

文化的な取組みが少ない
寺島宗則記念館
市役所のソーラーパネル
商店街の衰退
このアンケート
住民の知識不足
職員に一生をかけてでも取り組みたいと思うテーマを持たせエキスパートとして認めてあげる育て方。責任感も出るしやる気も出る。ひいては市民に喜ばれて大事にされる。他所の良いものを話せる雰囲気をつくりたい。
イノシシの道路への飛び出し、鹿などの獣害対策
Q1の27はここで問わなくて良かったのですか。
市議会の運営。40代30代の若い議員を登用するべき。アイデアを微塵も感じられない。
駅前に商業店が無く、1日も早くコンビニでもスーパーでも計画してください。
時折、バイクの爆音が聞こえてきて、残念
宿泊施設が少ない
市議会
商売下手
市職員を都会の職員と半年でも一年でも交換してみる
全部
交流人口の少なさ
宿泊施設がない。
宿泊施設が少ない。わかりにくい。
「阿久根に帰って暮らしたい」と常々話している関東住みの親戚や初恋の彼氏が帰ってきてくれない。帰ってきたとしても、お骨になって帰ってきてしまう。ノノ浜駅のトイレを汚く使う人がいて、閉鎖の危機に陥っている。
市長と議員の年齢が高い
市の図書館
子育て環境と独居老人へのケア
遺跡の発掘
高齢者が多い

**Q4. Q3で選んだ中から「いちばん当てはまると思うもの」を1つ挙げ、理由を具体的にお書きください。**

番号	当てはまると思う理由

## Q4.

## Q3で選択した項目のうち、最も当てはまると思うもの1つを選択

## サマリ



若干の順位の入替わりはあるものの上位5項目は複数選択式と同じ項目が並ぶ結果となったが、「③雇用・働き場が少ない」が1位の「②少子化・人口減少」と2票の僅差での2位となった。複数選択式と比較して70代および居住20年以上の属性の選択率向上が見られ、高齢者が重視する課題意識が顕在化したと思われる。



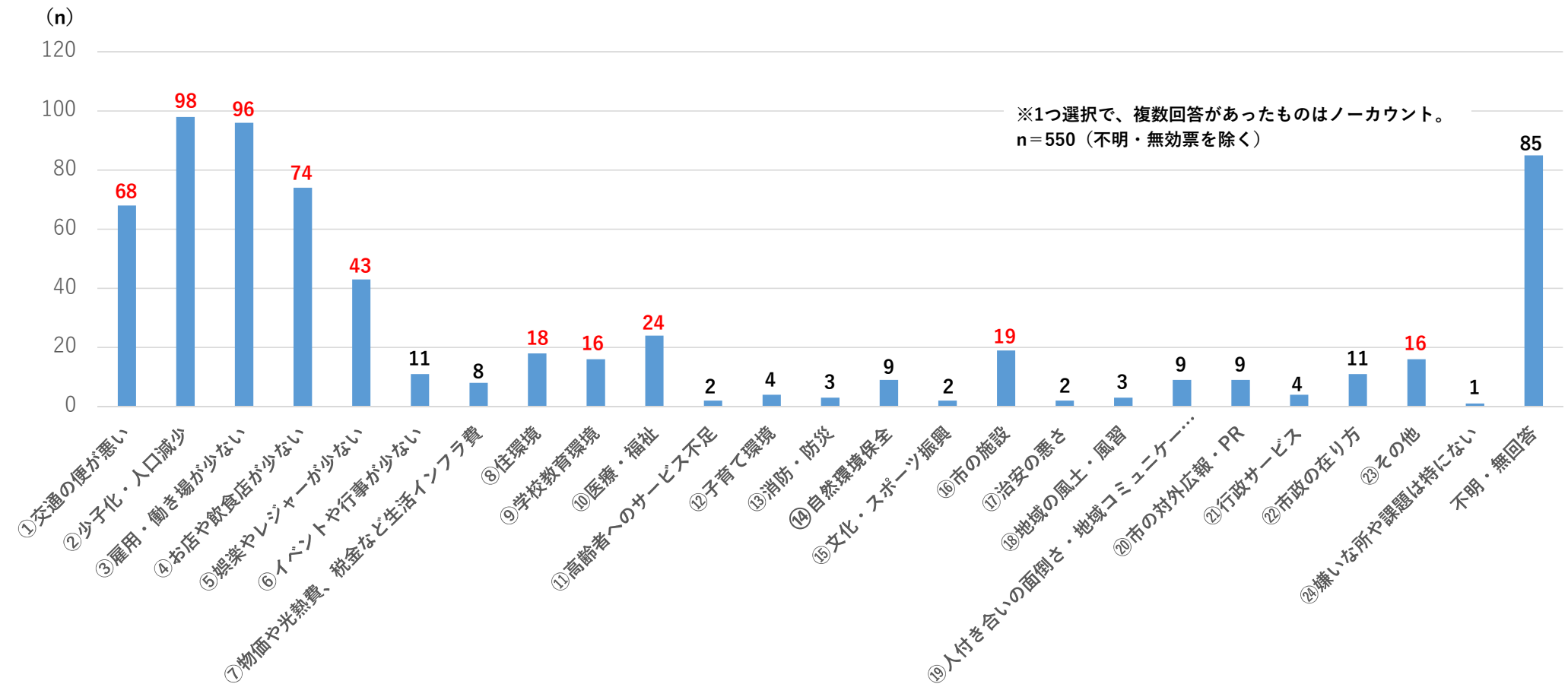
「④お店や飲食店が少ない」が単一選択式で3位に浮上した事は、普段の自身の日常生活や現在～将来的な旅行者・訪問者の食事情に関する課題感が、交通事情に関する課題感を上回ったことを示していると考えられる。



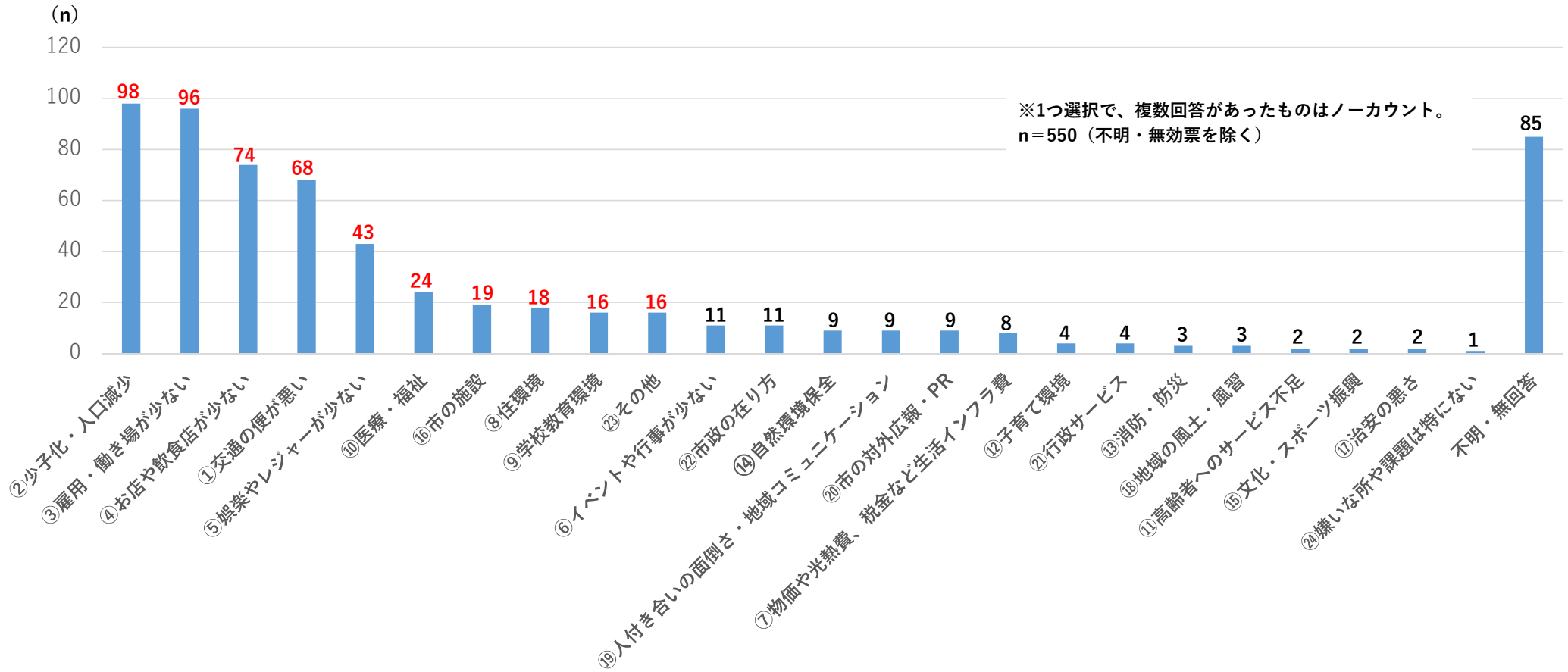
「居住5年～10年」の属性の選択率と項目を見ると市の将来的な展望より移住者としての現在の自身の生活における不満や課題感が如実に現れていると思われ、かつ項目により大きな数値幅が見られる。中でも自身に関係ない、自身で解決できる課題項目の選択率が低く、解決困難と思われる生活上の課題項目の選択率が高く出ていると推察。



「⑩医療・福祉」は「20-40代（全体集計表参照）」の属性が複数選択式や平均値と比較して高い選択率となっており、複数選択式でも見られた「女性」「居住5年～10年」「市外出身」の属性の高い選択率と合わせて、子育て移住者の医療・福祉関連への不満や課題感があらためて浮き彫りとなったと思われる。



- ✓ 得票数が最も多かったのは複数選択式と同じく「②少子化・人口減少」、2票の僅差で同じく「③雇用・働き場が少ない」が2位。
- ✓ 複数選択式より上位項目の順位の変動があり、「④お店や飲食店が少ない」が「①交通の便が悪い」を抜き3位となっている。
- ✓ 上位5位までは複数選択式と同じ項目で構成される結果となったが、「⑩医療・福祉」が6位に順位を上げている。



【前ページグラフの得票順並べ替え】

- ✓ 複数選択式の得票数では10位圏外だった「⑬市の施設」が7位に、「⑭イベントや行事が少ない」が同率9位にランクイン。
- ✓ 代わりに10位圏外に落ちている項目は、「⑥イベントや行事が少ない」と「⑦物価や光熱費、税金など生活インフラ費」。

Q4.Q3で選んだ中から最も当てはまると思うもの（単一選択式）全属性クロス集計

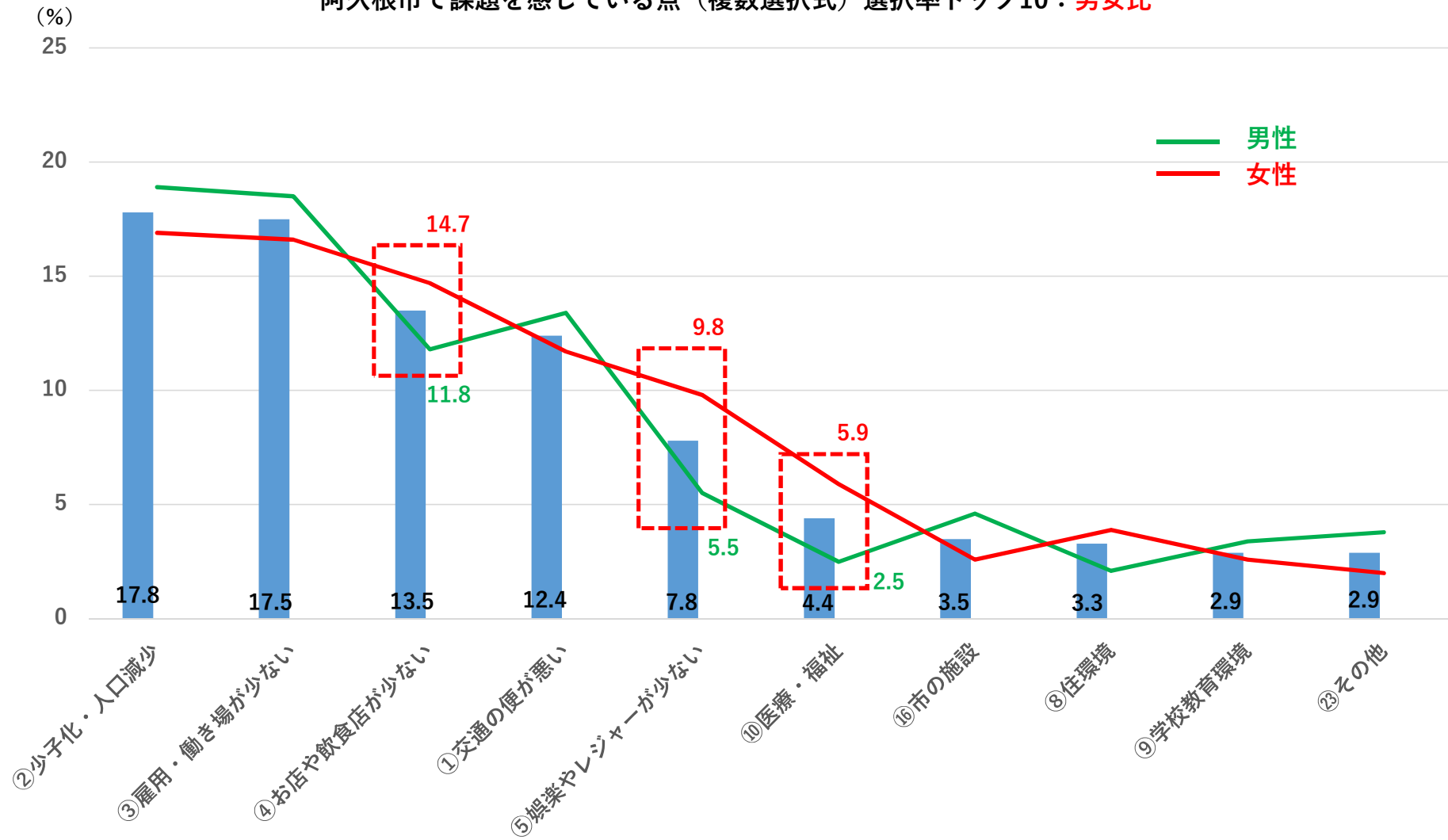
※全体値と比較して ■ +10ポイント ■ +5ポイント ■ -10ポイント ■ -5ポイント n=550

		Q4.Q3で一番当てはまると思うもの（単一選択式）																								
合計		①交通の便が悪い	②少子化・人口減少	③雇用・働き場が少ない	④お店や飲食店が少ない	⑤娯楽やレジャーが少ない	⑥イベントや行事が少ない	⑦物価や光熱費、税金など生活インフラ費	⑧住環境	⑨学校教育環境	⑩医療・福祉	⑪高齢者へのサービス不足	⑫子育て環境	⑬消防・防災	⑭自然環境保全	⑮文化・スポーツ振興	⑯市の施設	⑰治安の悪さ	⑱地域の風土・風習	⑲人付き合いの面の倒さ・地域コミュニケーション	⑳市の対外広報・PR	㉑行政サービス	㉒市政の在り方	㉓その他	㉔嫌いな所や課題は特にな	
全体	550	68	98	96	74	43	11	8	18	16	24	2	4	3	9	2	19	2	3	9	9	4	11	16	1	
性別	男性	238	32	45	44	28	13	7	5	8	6	0	1	2	2	11	2	2	6	3	1	7	9	0	0	
	女性	307	36	52	51	45	30	4	6	12	8	18	2	3	1	7	8	0	1	3	6	3	4	6	1	
年代	10代	41	8	6	3	10	7	1	0	0	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	
	20代	38	3	5	6	6	6	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	4	0	
	30代	76	5	15	6	9	10	0	1	5	4	4	1	2	0	0	4	0	1	4	0	1	1	3	0	
	40代	95	12	14	16	11	4	1	3	4	5	5	0	2	1	0	3	1	1	0	2	1	2	6	0	
	50代	75	13	18	16	8	6	1	0	2	1	1	0	1	0	1	4	0	0	0	2	0	1	0	0	
	60代	110	12	20	26	13	4	5	2	3	1	7	0	0	0	5	0	4	0	0	2	4	0	1	1	0
	70代	90	13	18	17	11	2	3	2	2	2	3	0	0	0	3	0	2	0	2	1	2	5	1	1	
	80代	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	90代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	居住年数	5年以内	44	8	5	7	8	3	0	0	1	2	1	0	0	1	0	2	1	0	1	1	0	0	3	0
5年～10年	40	4	6	3	2	8	0	0	4	2	5	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	0		
11年～20年	105	18	17	14	18	10	2	0	1	7	3	0	0	1	1	0	5	1	1	1	0	2	2	0		
20年以上	353	36	68	71	45	22	9	8	11	5	15	2	4	2	7	2	12	0	2	5	6	4	9	7		
出身地	阿久根市内	357	41	69	63	56	24	7	8	9	12	2	3	1	6	2	12	2	3	5	5	3	7	9		
阿久根市外	180	26	27	31	15	17	4	1	9	7	11	0	1	2	3	0	7	0	4	4	1	4	6	0		
			14.4%	15.0%	17.2%	8.3%	9.4%	2.2%	0.6%	5.0%	3.9%	6.1%	0.0%	0.6%	1.1%	1.7%	0.0%	3.9%	0.0%	2.2%	2.2%	0.6%	2.2%	0.0%		

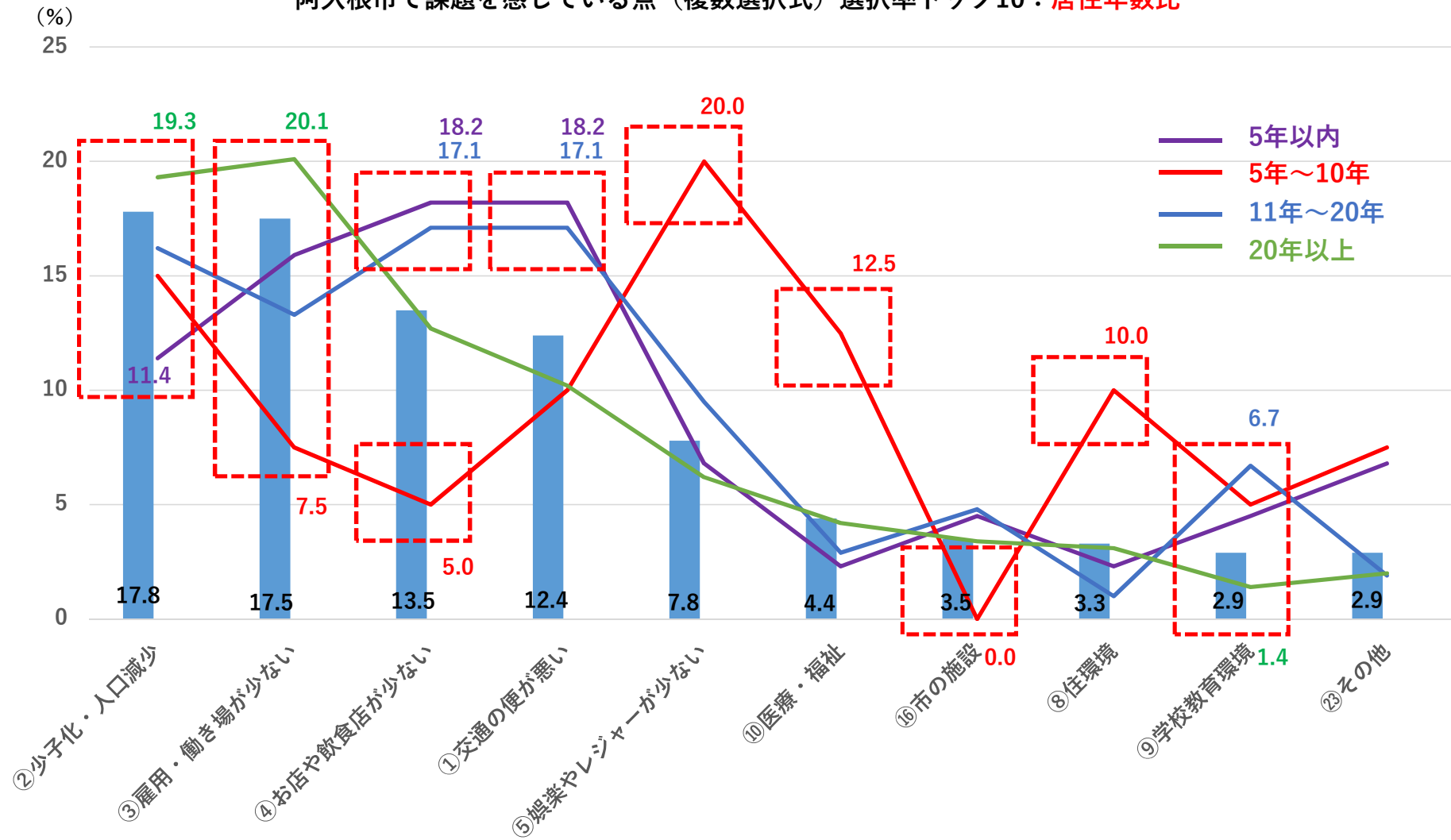
- ✓ 上位項目②③④①⑤のうち、全体値と大きく開きがあるものを挙げると「③雇用・働き場が少ない」の10代と居住5年～10年の選択率の低さ、「④お店や飲食店が少ない」の10代の高さ、「⑤娯楽・レジャーが少ない」の居住5年～10年の高さなど。
- ✓ 複数選択式と比較して全体値より値がやや少ない（＝単一選択式で選択率が落ちている）項目と属性は、「②少子化・人口減少」の居住5年以内、「③雇用・働き場が少ない」の30代と居住5年～10年、「④お店や飲食店が少ない」の居住5年～10年と市外出身など。



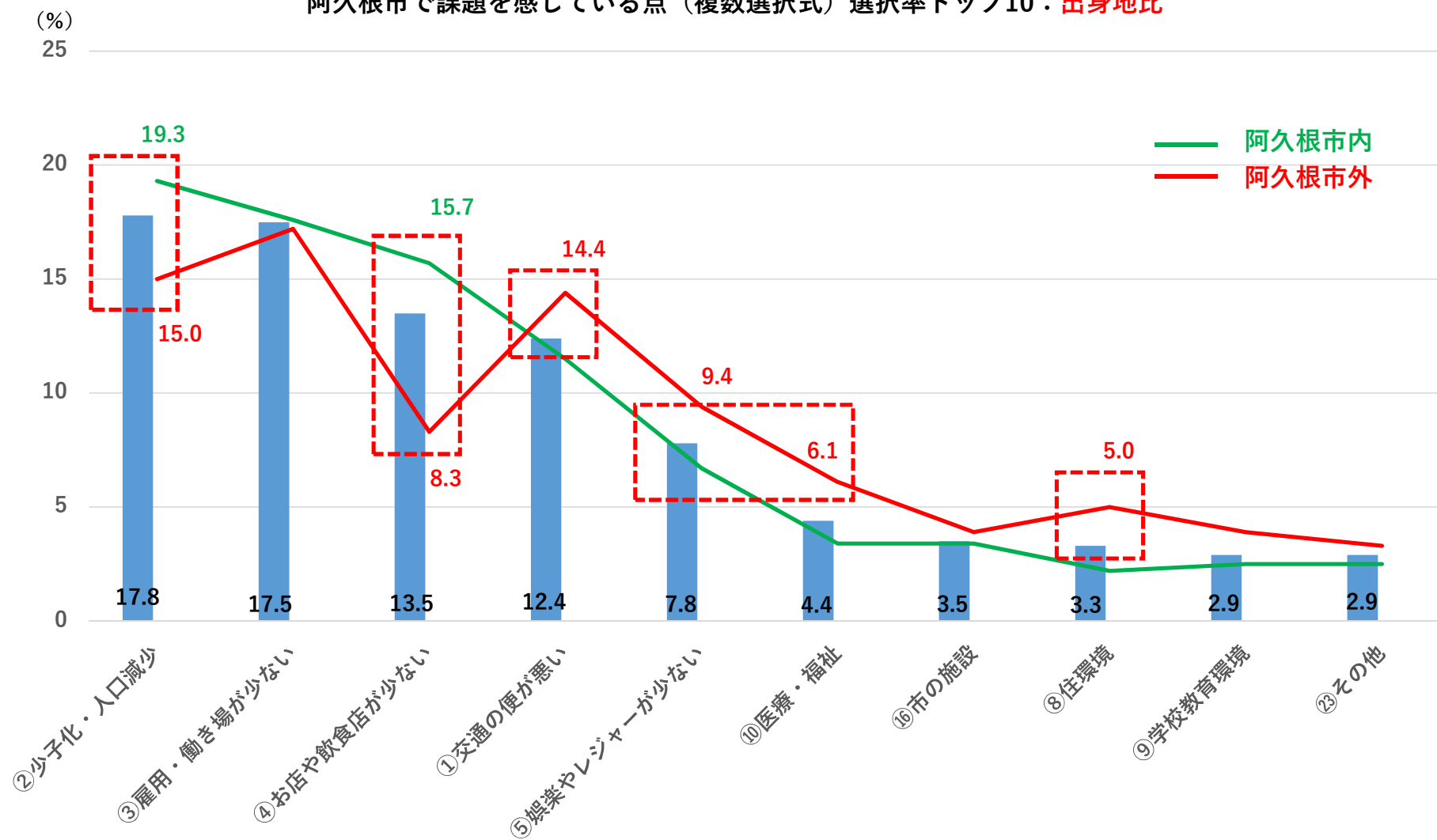
阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）選択率トップ10：男女比



阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）選択率トップ10：居住年数比



阿久根市で課題を感じている点（複数選択式）選択率トップ10：出身地比



## 「男女比」「居住年数比」「出身地比」の属性別傾向を受けた考察

- ✓ 単一選択式得票1位「②少子化・人口減少」と2位「③雇用・働き場が少ない」の市の将来展望に関連した項目は、「男性」「50-60代（全体集計表参照）」「居住20年以上」の属性に多く選択されているのは複数選択式と同様だが、平均値より数値幅がやや大きく、同層の市の将来に対するより一層の課題意識が窺える。また、「③雇用・働き場が少ない」の70代の選択率が向上したことも注目すべき点。
- ✓ 「居住5年～10年」の属性は「④お店や飲食店が少ない」の選択率は低いが、「⑤娯楽やレジャーが少ない」は平均値よりも突出して多く選択されており、「10-30代（全体集計表参照）」の属性とのリンクも鑑みると、お店や飲食店は他市へ移動することで賄えるが余暇の過ごし方については移住から数年経過した現在でも依然不満として存在すると考えられる。
- ✓ 「居住5年～10年」の属性はほぼ全ての項目で平均値および他属性と異なる数値幅となり異形のグラフパターンとなっているが、「出身地比」の「市外出身」の属性とやや似たグラフパターンとなっており、少なからずリンクしていると思われる。
- ✓ 「④お店や飲食店が少ない」は「女性」「10代（全体集計表参照）」「市内出身」の属性の選択率が高く、この項目を多く選択しているのは主に10代学生で、お店や飲食店がない環境で育ち、かつ車などで自ら移動する手段を持たないため、不満を持っていると推察される。
- ✓ 「⑩医療・福祉」は「20-40代（全体集計表参照）」の属性が複数選択式や平均値と比較して高い選択率となっており、複数選択式でも見られた「女性」「居住5年～10年」「市外出身」の属性の高い選択率と合わせて、子育て移住者の医療・福祉関連への不満や課題感があらためて浮き彫りとなったと思われる。
- ✓ 「⑧住環境」は「30代（全体集計表参照）」「居住5年～10年」「市外出身」の属性に多く選択されている傾向があり、市の将来的な展望視点というより移住後の現在の住居もしくはは引越等がしにくい環境等に対する不満が出ていると思われる。

Q4.記入式回答「当てはまると思う理由」については、別紙資料「記入式回答一覧」をご参照ください。

**Q5. あなたが今日から阿久根市長になったとします。**

**市をもっと暮らしやすく良くするために、まず何から重点的に推進しますか？**

**以下の項目から当てはまるものを1つだけ選び、その番号を○で囲んでください。**

- ①農林水産業の振興と雇用の確保
- ②商工業の振興と雇用の確保
- ③観光の振興と観光客増加策
- ④新規企業の誘致
- ⑤起業家の育成
- ⑥移住者の増加策
- ⑦定住促進策（市外への転出防止）
- ⑧健康の増進と地域医療の充実
- ⑨子育て支援の充実
- ⑩高齢者福祉と障がい者福祉の充実
- ⑪社会保障制度の適正運営
- ⑫自然環境の保全
- ⑬暮らしを支える生活基盤（電気・水道・ガス・道路等）の形成・保全
- ⑭消防・防災対策の充実
- ⑮治安等の生活の安心・安全の向上
- ⑯市を活性化させる次世代人材の育成
- ⑰生涯学習の推進と社会教育の充実
- ⑱文化の振興とスポーツの推進
- ⑲行政への市民参加
- ⑳地域コミュニティの活性化
- ㉑人権の尊重と男女共同参画の推進
- ㉒適正な行財政運営
- ㉓その他（

)

## Q5. もし市長になったとして市をもっと暮らしやすく良くするために重点的に推進したいこと1つを選択

## サマリ



得票数が最も多かったのは他を大きく引き離して「④新規企業の誘致」で、Q3「阿久根市の課題」で上位となった「少子化・人口減少」「雇用・働き場が少ない」の課題を打開するために、**市の基幹産業のてこ入れよりも優先すべき政策**として市民に捉えられていると推察される。



得票2・3位「⑥移住者の増加策」と「⑨子育て支援の充実」は、1位「④新規企業の誘致」との**関連性**が推論され、**企業誘致や子育て支援策により市外在住者（働き盛りの子育て世代）の目を阿久根市に向けさせ移住を増加させる**、というロジックは多くの市民にサクセスイメージ化されていると考えられる。



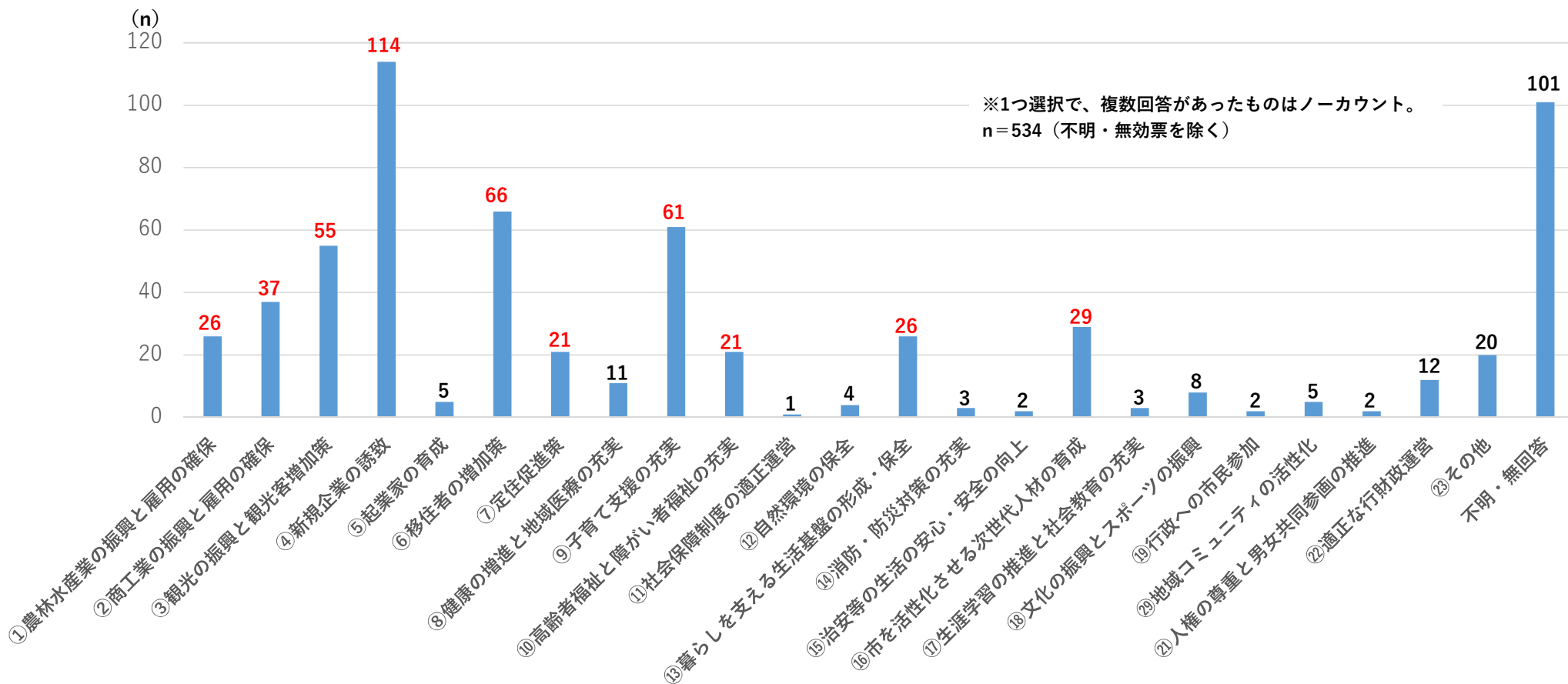
得票1位の「④新規企業の誘致」は年代や性別、居住年数など属性により**選択率が分散**している傾向があり、肯定的な考え方を持つ層と否定的・懐疑的に考える層や無関心層が存在している事が窺える。



「①農林水産業の振興と雇用の確保」は居住年数が浅い属性で「選択ゼロ」で、**移住者は将来的に市の第一次産業にてこ入れするより、企業誘致などを通じた第二次・三次産業の振興により市の経済発展を目指した方が良いと考えている人が多い**と推察される。



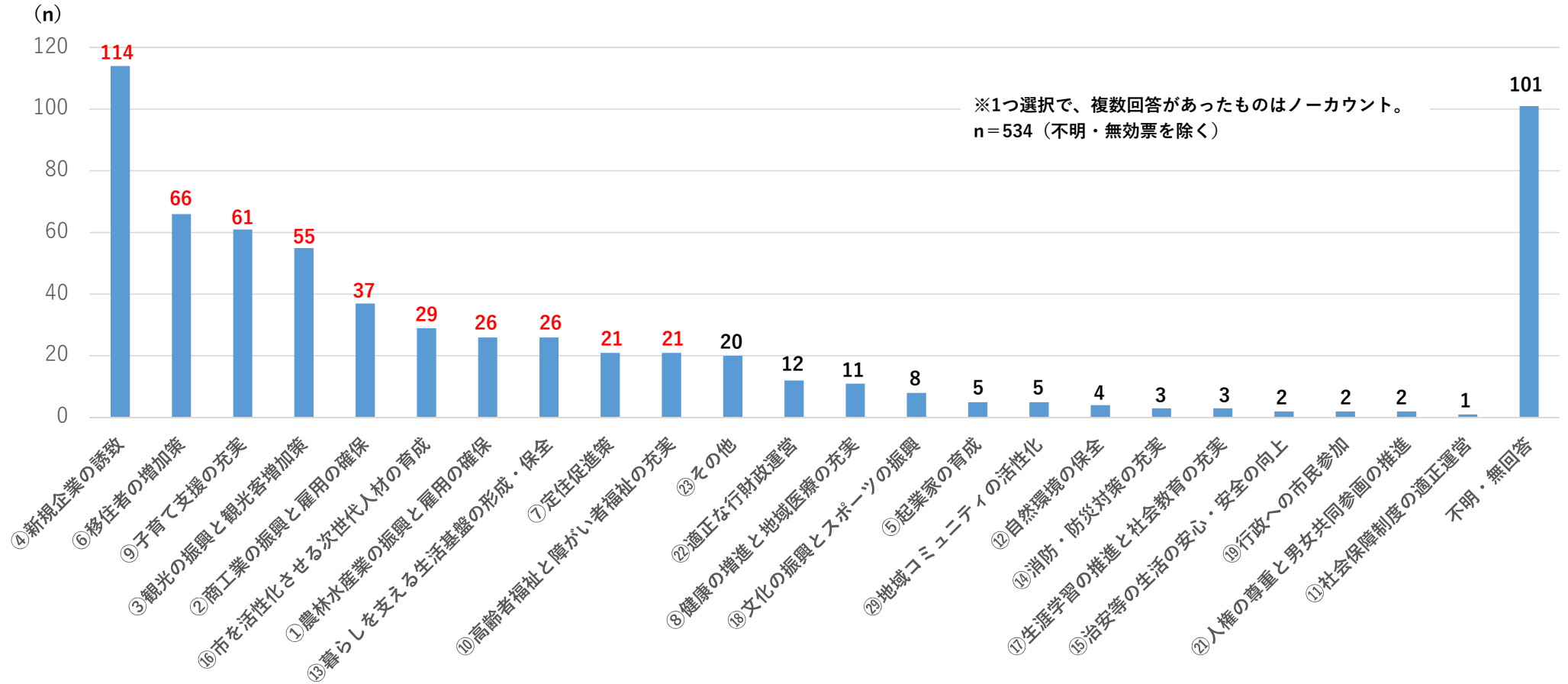
得票4位の「③観光の振興と観光客増加策」は「**居住10年以内で市外出身者の若年層の女性**」に多く選択されている傾向があり、観光振興による市の賑わいや経済活性化への期待が窺えるが、**男性の選択率は低く温度感が異なる**。



✓得票数が最も多かったのは「④新規企業の誘致」で、他の項目を大きく引き離し選択されている。続く2位は「⑥移住者の増加策」、3位は「⑨子育て支援の充実」となっており、多くの市民に農林水産業や商工業など市の基幹産業のてこ入れよりも優先すべき政策として捉えられていると推察できる。



Q5. 阿久根市長になったら重点的に推進したいこと（単一選択式） 単純集計・得票順



- ✓ 「③観光の振興と観光客増加策」が4位となっており、移住以外の交流人口の増加による経済活性化の期待が窺える。
- ✓ 市の基幹産業に関連する項目「①農林水産業の振興と雇用の確保」よりも、「⑩市を活性化させる次世代人材の育成」が上位に来ており、基幹産業の後継者づくりと事業の継続よりも、ジャンルを問わない未知のヒューマンパワーへの期待の方が上回っていることが窺える。

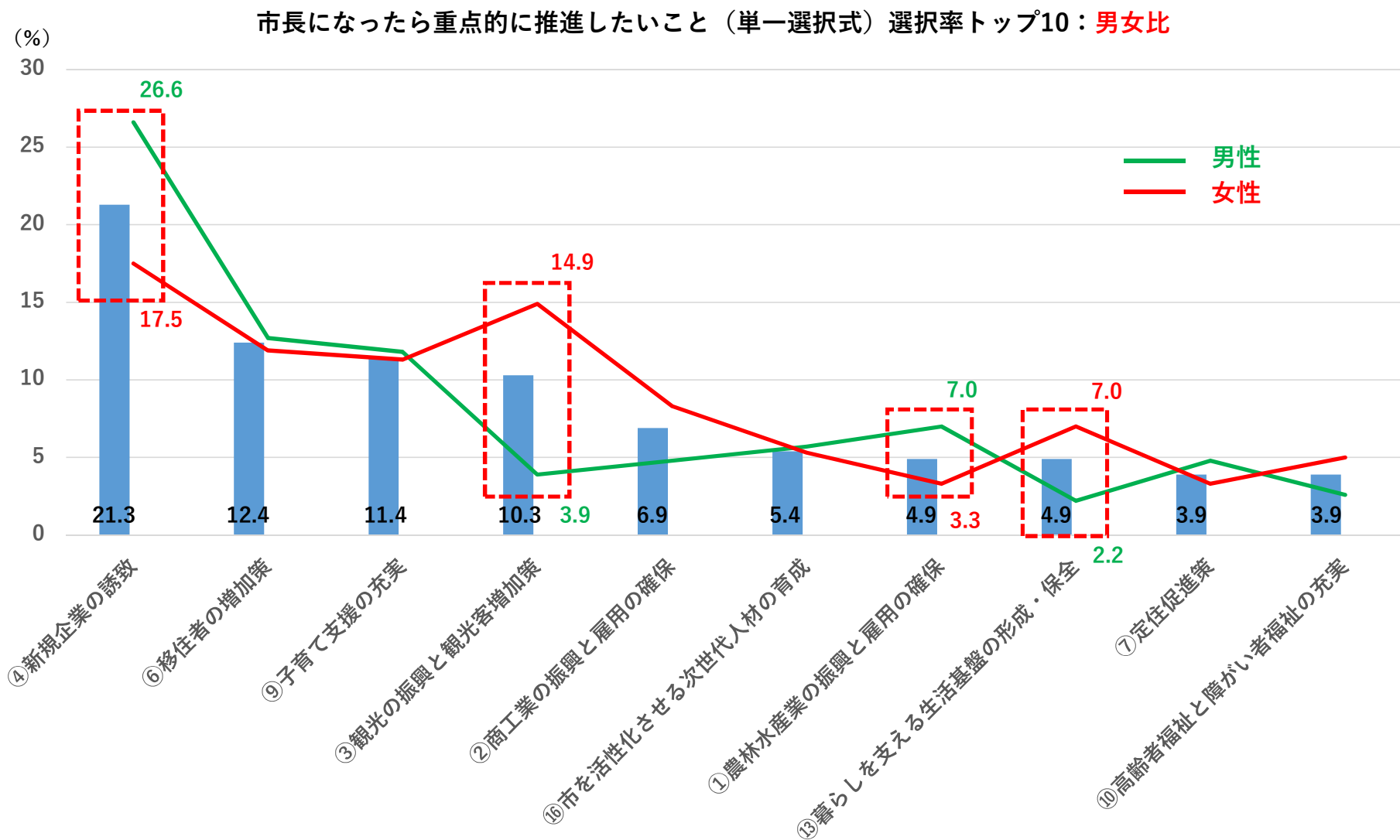


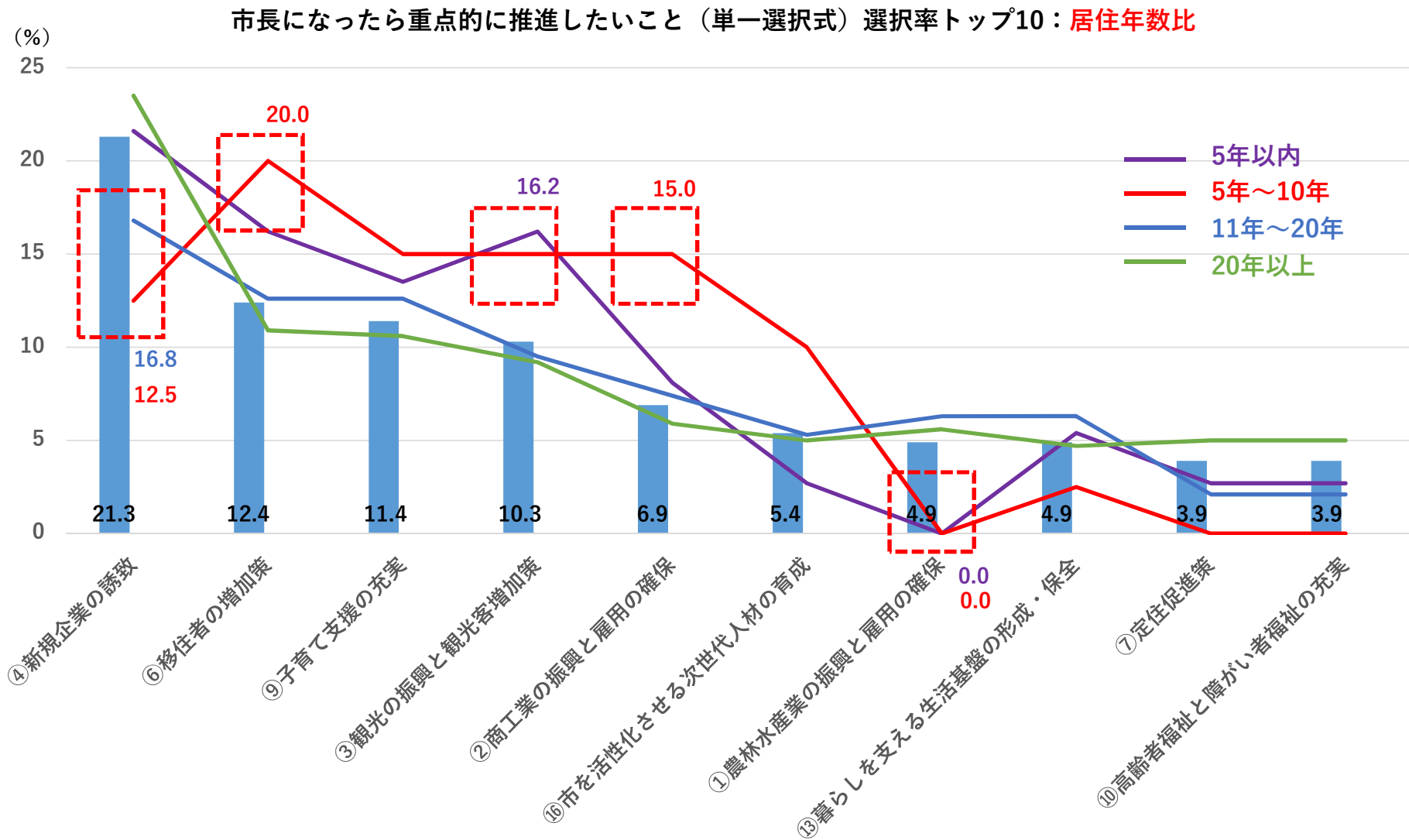
Q5.阿久根市長になったら重点的に推進したいこと（単一選択式）全属性クロス集計

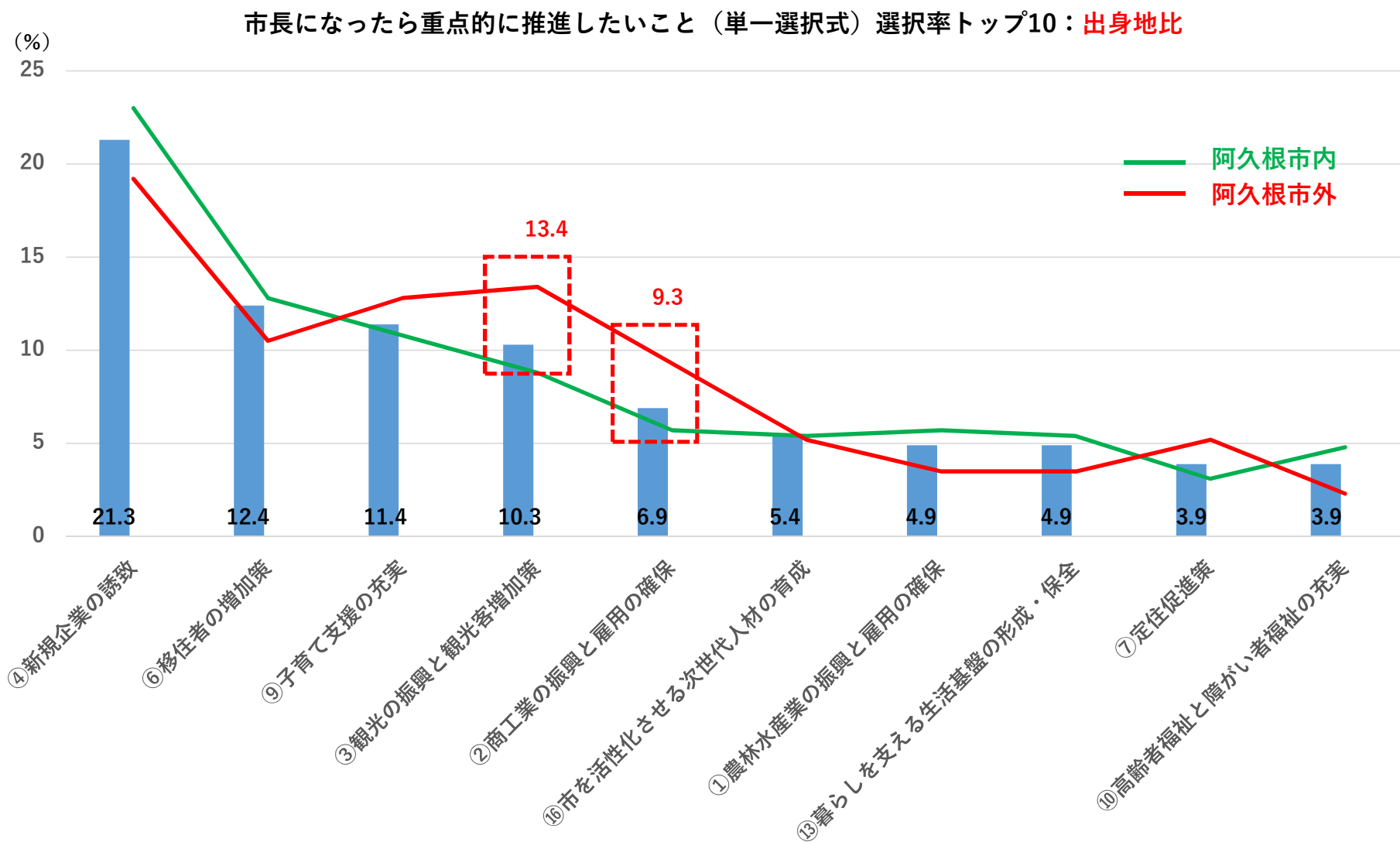
※全体値と比較して  +10ポイント  +5ポイント  -10ポイント  -5ポイント n=534

		Q5.市長になったら重点的に推進するもの（単一選択式）																						
合計		①農林水産業の振興と雇用の確保	②商工業の振興と雇用の確保	③観光の振興と観光客増加策	④新規企業の誘致	⑤起業家の育成	⑥移住者の増加策	⑦定住促進策	⑧健康増進と地域医療の充実	⑨子育て支援の充実	⑩高齢者福祉と障がい者福祉の充実	⑪社会保障制度の適正運営	⑫自然環境の保全	⑬暮らしを支える生活基盤の形成・保全	⑭消防・防災対策の充実	⑮治安等の生活の安心・安全の向上	⑯市を活性化させる次世代人材の育成	⑰生涯学習の推進と社会教育の充実	⑱文化の振興とスポーツの振興	⑲行政への市民参加	⑳地域コミュニティの活性化	㉑人権の尊重と男女共同参画の推進	㉒適正な行財政運営	㉓その他
全体	534	26 4.9%	37 6.9%	55 10.3%	114 21.3%	5 0.9%	66 12.4%	21 3.9%	11 2.1%	61 11.4%	21 3.9%	1 0.2%	4 0.7%	26 4.9%	3 0.6%	2 0.4%	29 5.4%	3 0.6%	8 1.5%	2 0.4%	5 0.9%	2 0.4%	12 2.2%	20 3.7%
性別	男性	16 7.0%	11 4.8%	9 3.9%	61 26.6%	2 0.9%	29 12.7%	11 4.8%	3 1.3%	27 11.8%	6 2.6%	1 0.4%	3 1.3%	5 2.2%	2 0.9%	0 0.0%	13 5.7%	1 0.4%	5 2.2%	2 0.9%	3 1.3%	0 0.0%	8 3.5%	11 4.8%
	女性	10 3.3%	25 8.3%	45 14.9%	53 17.5%	3 1.0%	36 11.9%	10 3.3%	8 2.6%	34 11.3%	15 5.0%	0 0.0%	1 0.3%	21 7.0%	1 0.3%	2 0.7%	16 5.3%	2 0.7%	3 1.0%	0 0.0%	2 0.7%	2 0.7%	2 1.3%	4 3.0%
年代	10代	0 0.0%	1 3.0%	5 15.2%	4 12.1%	0 0.0%	7 21.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 12.1%	1 3.0%	0 0.0%	1 3.0%	3 9.1%	0 0.0%	1 3.0%	2 6.1%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	2 6.1%
	20代	1 2.8%	4 11.1%	8 22.2%	6 16.7%	1 2.8%	1 2.8%	1 2.8%	0 0.0%	6 16.7%	2 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.8%	2 5.6%
	30代	3 4.1%	2 2.7%	5 6.8%	11 15.1%	1 1.4%	3 4.1%	2 2.7%	2 4.1%	20 27.4%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	4 5.5%	1 1.4%	0 0.0%	6 8.2%	0 0.0%	2 2.7%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.7%	2 6.8%
	40代	6 6.5%	9 9.8%	3 3.3%	25 27.2%	0 0.0%	15 16.3%	4 4.3%	1 1.1%	10 10.9%	3 3.3%	1 1.1%	0 0.0%	4 4.3%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	3 3.3%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	3 3.3%	2 2.2%
	50代	4 5.4%	8 10.8%	12 16.2%	12 16.2%	0 0.0%	11 14.9%	4 5.4%	3 4.1%	6 8.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	2 2.7%	7 9.5%
	60代	5 4.3%	4 3.5%	12 10.4%	26 22.6%	2 1.7%	17 14.8%	7 6.1%	2 1.7%	11 9.6%	5 4.3%	0 0.0%	2 1.7%	8 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 6.1%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	3 2.6%
	70代	6 7.0%	4 4.7%	8 9.3%	28 32.6%	1 1.2%	10 11.6%	3 3.5%	1 1.2%	4 4.7%	4 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	10 11.6%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%	0 0.0%	2 2.3%	1 1.2%
	80代	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	90代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	居住年数	5年以内	0 0.0%	3 8.1%	6 16.2%	8 21.6%	0 0.0%	6 16.2%	0 0.0%	0 0.0%	5 13.5%	1 2.7%	0 0.0%	1 2.7%	2 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.7%	1 2.7%	1 2.7%	1 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
5年～10年		0 0.0%	6 15.0%	6 15.0%	5 12.5%	0 0.0%	8 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 10.0%	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	
11年～20年		6 6.3%	7 7.4%	9 9.5%	16 16.8%	3 3.2%	12 12.6%	2 2.1%	1 1.1%	12 12.6%	2 2.1%	0 0.0%	2 2.1%	6 6.3%	1 1.1%	2 2.1%	5 5.3%	0 0.0%	2 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	6 6.3%
20年以上		20 5.6%	21 5.9%	33 9.2%	84 23.5%	2 0.6%	39 10.9%	18 5.0%	9 2.5%	38 10.6%	18 5.0%	1 0.3%	1 0.3%	17 4.7%	2 0.6%	0 0.0%	18 5.0%	2 0.6%	4 1.1%	2 0.6%	5 1.4%	1 0.3%	10 2.8%	13 3.6%
出身地	阿久根市内	20 5.7%	20 5.7%	31 8.8%	81 23.0%	1 0.3%	45 12.8%	11 3.1%	7 2.0%	38 10.8%	17 4.8%	1 0.3%	3 0.9%	19 5.4%	1 0.3%	1 0.3%	19 5.4%	2 0.6%	5 1.4%	2 0.6%	4 1.1%	1 0.3%	9 2.6%	
	阿久根市外	6 3.5%	16 9.3%	23 13.4%	33 19.2%	3 1.7%	18 10.5%	9 5.2%	4 2.3%	22 12.8%	4 2.3%	0 0.0%	1 0.6%	6 3.5%	2 1.2%	1 0.6%	9 5.2%	1 0.6%	3 1.7%	0 0.0%	1 0.6%	1 1.7%	3 3.5%	

- ✓ 上位項目④⑥⑨③②のうち、全体値と比較して選択率が高い年代を挙げると「④新規企業の誘致」の70代、「⑨子育て支援の充実」の30代、「③観光の振興と観光客増加策」の20代、など。
- ✓ 「④新規企業の誘致」は、70代と40代および男性の選択率が高いが、10代・30代・50代、居住5年～10年の選択率は低い。
- ✓ 「⑨子育て支援の充実」は30代、「③観光の振興と観光客増加策」は20代が突出して選択率が高い。







「男女比」「居住年数比」「出身地比」の属性別傾向を受けた考察

- ✓ 「④新規企業の誘致」は属性により選択率が分散している傾向があり、肯定的な考え方を持つ層と否定的・懐疑的に考える層や無関心層が存在している事が窺える。
- ✓ 他の設問でも見られた傾向だが、本設問でも「居住5年～10年」の属性は数値幅が大きい箇所が多い。阿久根市に移住して5～10年経過し市の様々な面が見えてきて、率直かつ闊達な意見として表面化している部分が多いと考えられる。（逆に、長年居住すると守りに入ったり見えなくなる部分が多くなるとの見方もできる）
- ✓ 「③観光の振興と観光客増加策」が、「女性」「20代（全体集計表参照）」「市外出身」の選択率が高いのは着目点。また「男性」の選択率が低い事も同様に着目すべき点。
- ✓ 「②商工業の振興と雇用の確保」は「居住5年以内」「居住5年～10年」の選択率が比較的高いが、「①農林水産業の振興と雇用の確保」は両層とも「選択ゼロ」であった。特に居住年数が浅い人ほど、将来的に市の第一次産業をてこ入れするより、企業誘致などを通じた第二次・三次産業の振興により市の経済発展を目指した方が良いと考えている人が多いことを示唆している。

Q5. 阿久根市長になったら重点的に推進したいこと（単一選択式）

Q5.㉓その他（原文通り）

	子どもが安心して生活できる為の教育・福祉の連携強化
	質問の意図が分からない
	もっと税金を安くする
	市議の報酬、定員の削減、市の公務員の給料削減
	住人が増えれば市がうるおい、暮らしやすくなるのでは
	だれがなくても、もめ事がある
	税金を安くする、保育料無償化をやめる
	借金を気にしていたら何も産まれない思いきった政策と自信と覚悟を持って取り組むと市民も賛同し協力すると思う。次につながる事が大切なこと借金を気にするな！
	あきらめる
	施設をつくる
	道路
	働く場所、時給をあげる事（阿久根市は良い所ではないと思います）
	議員を減らす
	空き家対策
	新しい事業の創造
	市民にかんげんしてくれ
	生活の安定・住民への還元
	市議を減らす
	予算がないのだから大きな事は言えないので、できることから

**Q6.** Q5でその項目を選んだ理由を具体的にお書きください。

具体的な理由

**Q7.** あなたが今日から阿久根市長になったとして、上記の項目の推進以外に阿久根市をより良くするために具体的に行いたいことがあればご自由にお書きください。

阿久根市をより良くするために実行したいこと

Q6.記入式回答「Q5.で選んだ具体的な理由」、Q7.「Q5・Q6.の項目以外に阿久根市をより良くするために具体的に実行したいこと」については、別紙資料「記入式回答一覧」をご参照ください。

# 4.

## 参考：特定クラスターの回答傾向比較

---

アンケート回答者のうちプロフィールをソートにかけて特定属性を抽出、「クラスター（集団）」として定義。クラスターの回答傾向を比較します。



【「阿久根市出身」かつ「長期在住者」に関する属性データ】

■阿久根市内出身者数：416人

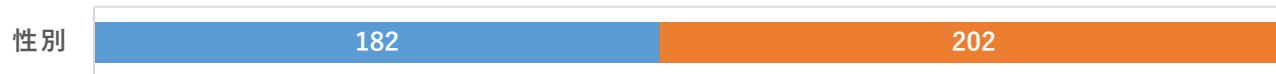


■うち、**居住年数10年以上**の人：386人

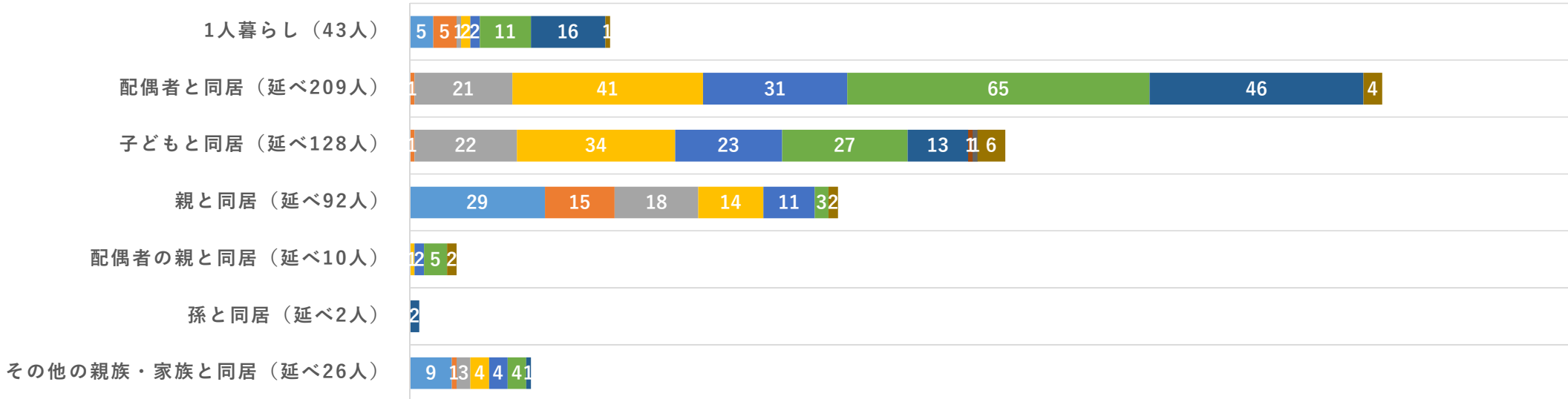


『阿久根市ベテラン』クラスター

■男性 ■女性 ■不明



■10代 ■20代 ■30代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代 ■80代 ■90代 ■不明



■同居家族もしくは年齢無回答：延べ25名

【移住者（推定移住者）に関する属性データ】

■阿久根市外出身者数：200人



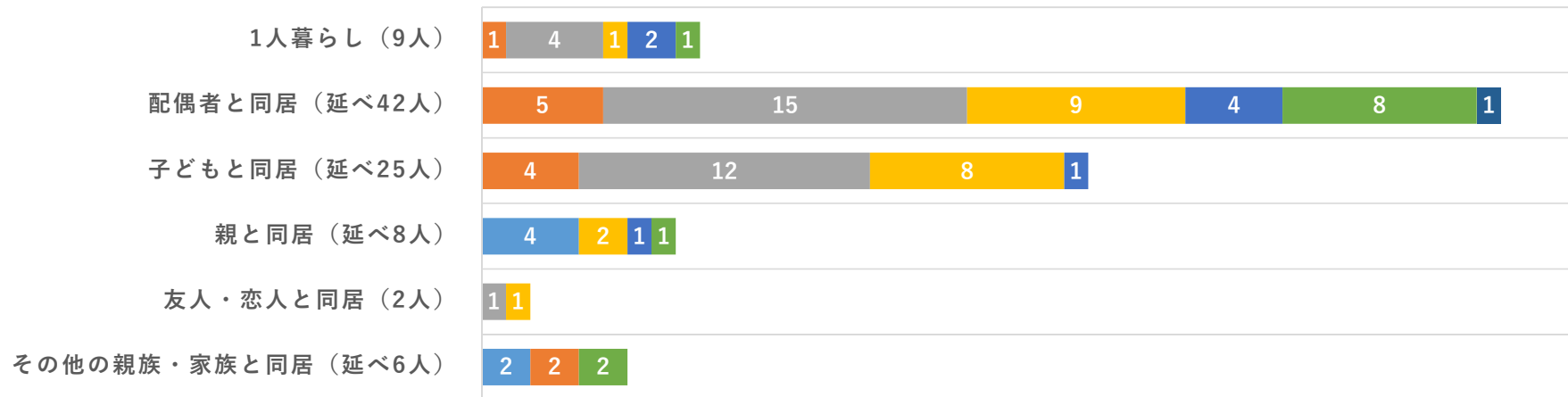
■うち、**居住年数10年以内の人**  
 （比較的最近移住してきたと思われる人）：67人

『阿久根市ルーキー』クラスター

※注：10代の最年少は11才なので、本クラスターの10代はすべて移住者と推測。



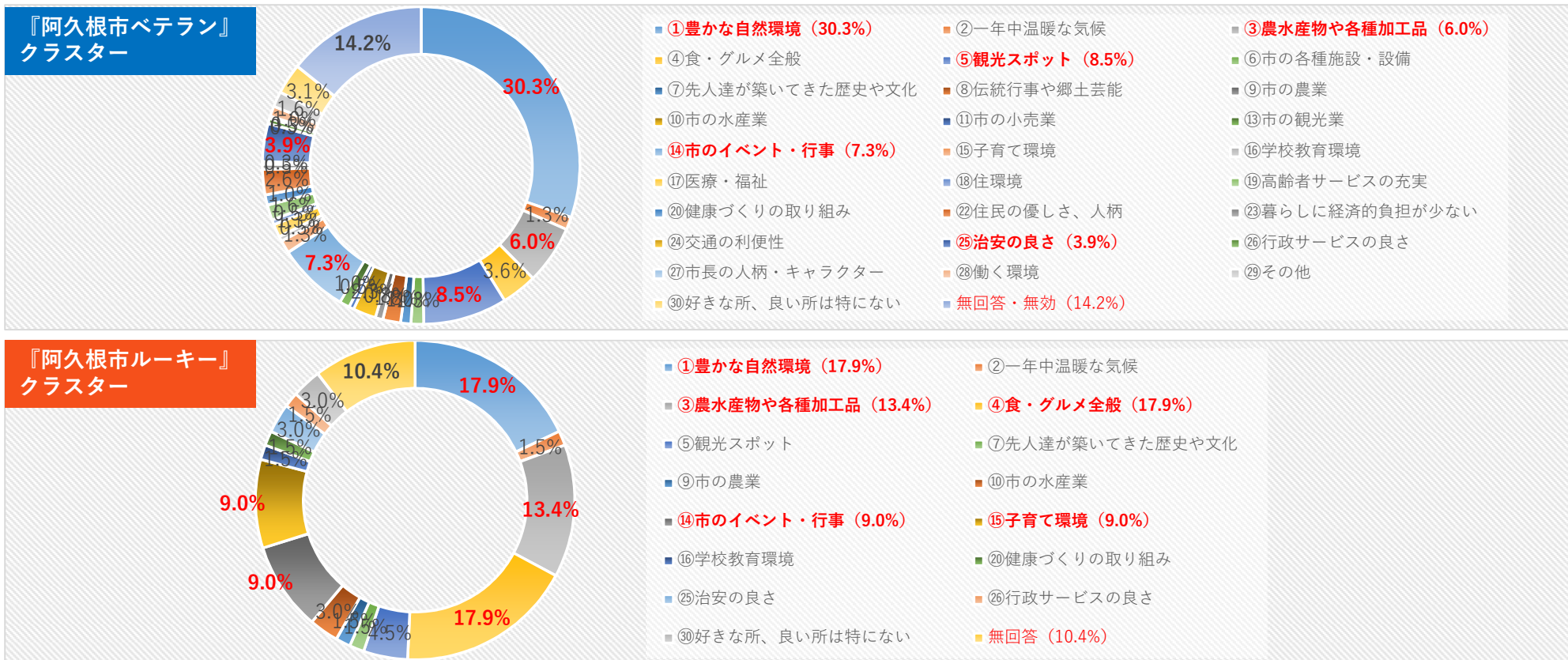
■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代



■同居家族もしくは年齢無回答：延べ3名

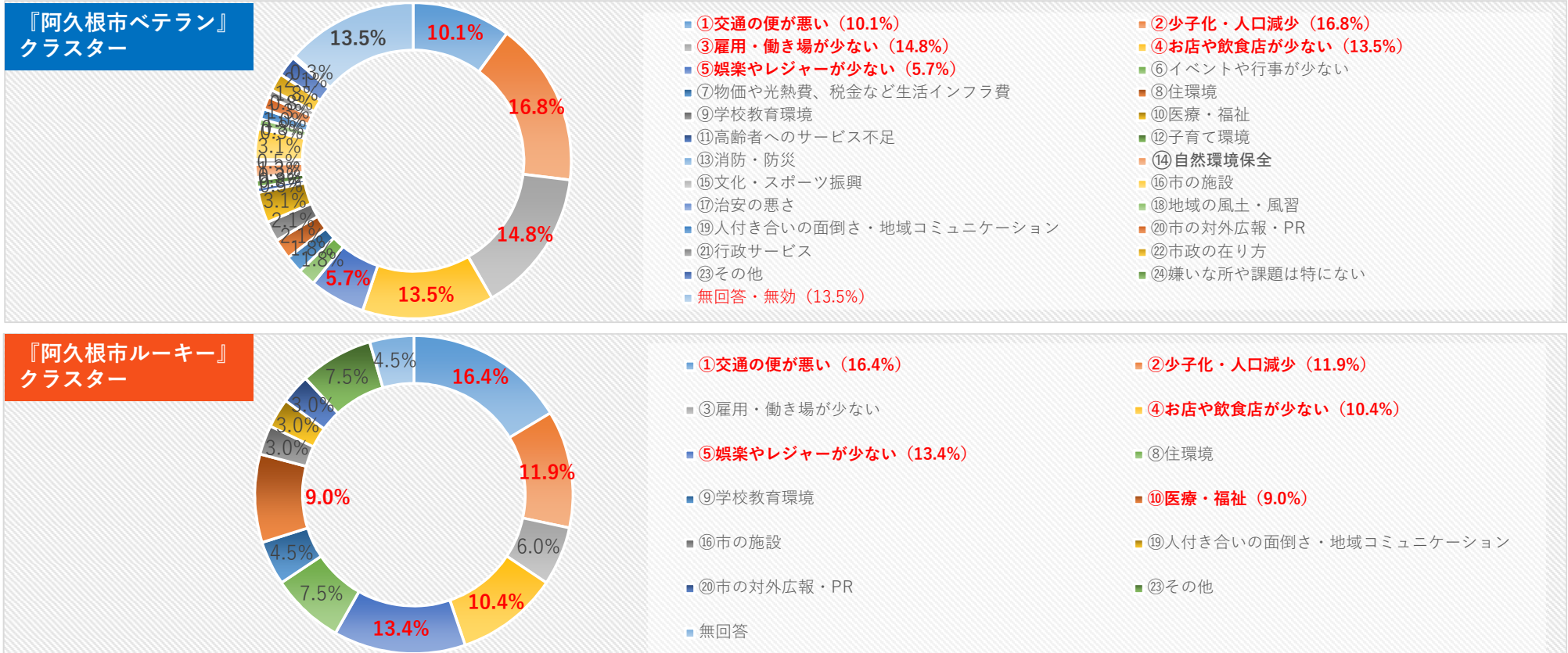
■67人のうち、20-50代の人（仕事や結婚等を理由に自分または家族の意思で阿久根市に移住したと思われる、ティーン・シニアを除くコア生産年齢人口層の人）：49人（男性19人：女性30人）

Q2. 「Q1.阿久根市の好き・良い・誇るべき所」で選んだ中から最も当てはまると思うもの



✓ 「ベテラン」は「①豊かな自然環境」の選択率が圧倒的に高くトップ、次点「⑤観光スポット」と併せて市内出身者・長期在住者の阿久根市の自然環境に対する愛着や思い入れ、誇りの大きさが窺える。  
 ✓ 「ルーキー」は「①」と同率で「④食・グルメ全般」が選択率トップで、次点「③農水産物や各種加工品」と合わせて移住者には市の自然環境や景観そのものよりも地の特産物や食・グルメといった要素の方が好まれている傾向が読み取れる。

Q4. 「Q3.阿久根市で課題を感じている点」で選んだ中から最も当てはまると思うもの

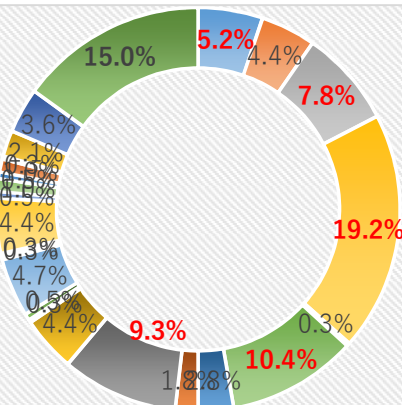


✓ 「ベテラン」が最大の課題として選択し選択率が高かったのが「②少子化・人口減少」「③雇用・働き場が少ない」といった市の将来展望に関連した項目で、「地元人」として次世代の市の姿を不安・問題視する姿が垣間見える。  
 ✓ 「ルキー」が多く選択しているのは「ベテラン」とは異なり「①交通の便が悪い」「⑤娯楽やレジャーが少ない」といった、市の将来に係る課題というよりは現在の自身の生活における不満や課題感が多く選択されていると推察される。



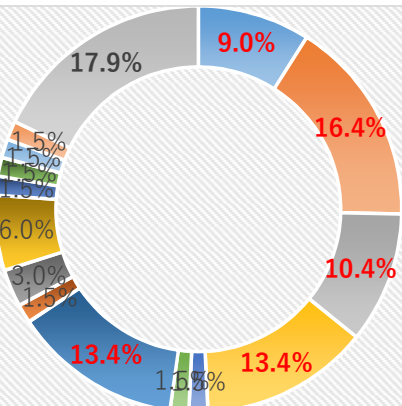
Q5. 「阿久根市長になったら重点的に推進したいこと」

『阿久根市ベテラン』  
クラスター



- ①農林水産業の振興と雇用の確保 (5.2%)
- ②商工業の振興と雇用の確保
- ③観光の振興と観光客増加策 (7.8%)
- ④新規企業の誘致 (19.2%)
- ⑤起業家の育成
- ⑥移住者の増加策 (10.4%)
- ⑦定住促進策
- ⑧健康の増進と地域医療の充実
- ⑨子育て支援の充実 (9.3%)
- ⑩高齢者福祉と障がい者福祉の充実
- ⑪社会保障制度の適正運営
- ⑫自然環境の保全
- ⑬暮らしを支える生活基盤の形成・保全
- ⑭消防・防災対策の充実
- ⑮治安等の生活の安心・安全の向上
- ⑯市を活性化させる次世代人材の育成
- ⑰生涯学習の推進と社会教育の充実
- ⑱文化の振興とスポーツの振興
- ⑲行政への市民参加
- ⑳地域コミュニティの活性化
- ㉑適正な行財政運営
- ㉒無回答・無効 (15.0%)
- ㉓その他

『阿久根市ルーキー』  
クラスター



- ②商工業の振興と雇用の確保 (9.0%)
- ③観光の振興と観光客増加策 (16.4%)
- ④新規企業の誘致 (10.4%)
- ⑤起業家の育成
- ⑥移住者の増加策 (13.4%)
- ⑦定住促進策
- ⑧健康の増進と地域医療の充実
- ⑨子育て支援の充実 (13.4%)
- ⑩高齢者福祉と障がい者福祉の充実
- ⑪社会保障制度の適正運営
- ⑫自然環境の保全
- ⑬暮らしを支える生活基盤の形成・保全
- ⑭消防・防災対策の充実
- ⑮治安等の生活の安心・安全の向上
- ⑯市を活性化させる次世代人材の育成
- ⑰生涯学習の推進と社会教育の充実
- ⑱文化の振興とスポーツの振興
- ⑲行政への市民参加
- ⑳地域コミュニティの活性化
- ㉑適正な行財政運営
- ㉒無回答・無効 (17.9%)
- ㉓その他

✓ 「ベテラン」が最も多く選択した「④新規企業の誘致」「⑥移住者の増加策」は、Q4.で多く選択された課題（少子化・人口減少・雇用・働き場の問題）の解決策となる項目の選択の意味合いが強いと考えられる。

✓ 一方「ルーキー」の選択率が最も高かった項目は「ベテラン」と異なり「③観光の振興と観光客増加策」であった。次点「⑨子育て支援の充実」と併せて、直接的な産業活性化や移住者増をきっかけにしない市の振興を図りたい意図が窺える。